取扱説明書

FORIS®
FS2434

カラー液晶モニター

重要

ご使用前には必ず使用上の注意、この取扱説明書およびセットアップガイドをよくお読みになり、正しくお使いください。

- コンピュータなど、外部機器との接続から使いはじめるまでの基本説明についてはセットアップガイドを参照してください。
- 最新の取扱説明書は、当社のWebサイトからダウンロードできます。
  http://www.eizo.co.jp

警告表示位置

CAUTION
RISK OF ELECTRIC SHOCK. DO NOT OPEN.

ATTENTION
RISQUE DE CHOC ELECTRIQUE. NE PAS OUVRIR.

ACHTUNG
GEFAHR DES ELEKTRISCHEN SCHLAGES. RÜCKWAND NICHT ENTFERNEN.

小心
有触电的风险。请勿打开。

警告
感電の恐れあり。カバーをあけないでください。

The equipment must be connected to a grounded main outlet.
Jordet stikkontakt skal benyttes når apparatet tilkobles datanett.
Apparaten skall anslutas till jordat nätuttag.
这设备必须连接至接地主插座。
電源コードのアースは必ず接地してください。

製品の仕様は販売地域により異なります。お買い求めの地域に合った言語の取扱説明書をご確認ください。

1. 本書の著作権はEIZO株式会社に帰属します。本書の一部あるいは全部をEIZO株式会社からの事前の許諾を得ることなく転載することは固くお断りします。
2. 本書の内容について、将来予告なしに変更することがあります。
3. 本書の内容については、万全を期して作成しましたが、万一誤り、記載もれなどお気づきの点がありましたら、ご連絡ください。
4. 本機の使用を理由とする損害、逸失利益などの請求につきましては、上記にかかわらず、いかなる責任も負いかねますので、あらかじめご了承ください。

モニターについて

この製品は、ビデオゲームの表示やマルチメディアコンテンツの閲覧などの用途に適しています。

この製品は、日本国内専用品です。日本国外での使用に関して、当社は一切責任を負いかねます。
This product is designed for use in Japan only and cannot be used in any other countries.

本書に記載されている用途以外での使用は、保証外となる場合があります。

本書に定められている仕様は、付属の電源コードおよび当社が指定する信号ケーブル使用時にのみ適用いたします。

この製品には、当社オプション品または当社が指定する製品をお使いください。

製品内部の電気部品の動作が安定するのに、約30分かかります。モニターの調整は電源を入れて30分以上経過するまでお待ちください。

経年使用による輝度変化を抑え、安定した輝度を保つためには、ブライトネスを下げて使用されることをお勧めします。

同じ画像を長時間表示することによって、表示を変えたときに前の画像が残像として見えることがあります。長時間同じ画像を表示するようなときには、コンピュータのスクリーンセーバーまたはパワーセーブ機能を使用してください。

表示状態を長時間続けると、表示面に黒いシミやムラ、焼き付きが発生する場合がありますのでご注意ください。モニターを長くお使いいただくため、定期的にモニターの電源をオフにすることをお勧めします。

この製品を美しく保ち、長くお使いいただくためにも定期的にクリーニングをおこなうことをお勧めします（「クリーニングの仕方」（P.4）参照）。

液晶パネルは、非常に精密度の高い技術で作られていますが、画素欠けや常時点灯する画素が見える場合がありますので、あらかじめご了承ください。また、有効ドット数の割合は99.9994% 以上です。

液晶パネルに使用されるバックライトには寿命があります。画面が暗くなったり、ちらついたり、点灯しなくなったときには、EIZOコンタクトセンターまたはEIZOサポートにお問い合わせください。

パネル面やパネルの外枠は強く押さないでください。強く押すと、干渉縞が発生するなど表示異常を起こすことがありますので取り扱いにご注意ください。また、パネル面に圧力を加えたままにしておきますと、液晶の劣化や、パネルの破損などにつながる恐れがあります。（液晶パネルを押した跡が残った場合、画面全体に白い画像または黒い画像を表示すると解消されることがあります。）

パネルを固い物や先のとがった物などで押したり、こすったりしないようにしてください。傷が付く恐れがあります。なお、ティッシュペーパーなどで強くこすっても傷が入りますのでご注意ください。

この製品を冷え切った状態のまま室内に持ち込んだり、急に室温を上げたりすると、製品の表面や内部に露が生じることがあります（結露）。結露が生じた場合は、結露がなくなるまで製品の電源を入れずにお待ちください。そのまま使用すると故障の原因となることがあります。

クリーニングの仕方

注意点

- アルコール、消毒薬などの薬品は、キャビネットやパネル面の光沢の変化、変色、色あせ、画質の劣化などにつながる恐れがあります。
- シンナー、ベンジン、ワックス、研磨クリーナは、キャビネットやパネル面をいためるため絶対に使用しないでください。

参考

- キャビネットやパネル面のクリーニングにはScreenCleaner（オプション品）をご利用いただくことをお勧めします。

キャビネットやパネル面の汚れは、やわらかい布に少量の水をしめらせて、やさしくふき取ってください。

モニターを快適にご使用いただくために

- 画面が暗すぎたり、明るすぎたりすると目に悪影響をおよぼすことがあります。状況に応じてモニター画面の明るさを調整してください。
- 長時間モニター画面を見続けると目が疲れますので、1時間に約10分の休憩を取ってください。

目次

モニターについて......3

クリーニングの仕方......4

モニターを快適にご使用いただくために......4

目次......5

第 1 章　はじめに......7

1-1.　特長......7

1-2.　各部の名称と機能......8

- 前面......8
- 背面......9
- リモコン......10
- リモコンについて......10

1-3.　基本操作と機能一覧......11

- 設定メニューの基本操作方法......11
- 機能一覧......12

第 2 章　画面を調整する......13

2-1.　対応解像度/対応フォーマット......13

- DVI-D入力時、HDMI（PC信号）入力時......13
- HDMI（ビデオ信号）入力時......13

2-2.　解像度を設定する......14

2-3.　カラーを調整する......15

- 表示モード（カラーモード）を選択する......15
- 詳細な調整をする......15
- 各モードの調整項目......16
- ブライトネス（明るさ）を調整する......16
- 黒の明るさと色を調整する「黒レベル」......17
- コントラストを調整する......17
- 色の濃さを調整する......17
- 色合いを調整する......18
- 色温度を調整する......18
- ガンマを調整する......19
- ゲインを調整する......19
- ノイズを低減する......20
- コントラスト拡張の強調度合いを設定する......20
- オーバードライブの強さを設定する......21

2-4.　HDMI信号入力時のカラースペースを設定する......21

2-5.　画面サイズを切り替える......22

- DVI-D入力時、HDMI（PC信号）入力時......22
- HDMI（ビデオ信号）入力時......23
- 文字や線のぼやけを直す......24

第 3 章　モニターを設定する......25

3-1.　HDMI信号入力時の音源を切り替える......25

3-2.　音量を調整する......25

- 音量を調整する......25
- 音を消す......26

3-3.　音声のレベルを調整する......26

3-4.　操作ボタンをロックする......27

3-5.　EIZOロゴを表示/非表示にする......27

3-6.　表示言語を設定する......27

3-7.　HDMI信号入力時の認証方法を切り替える......28

3-8.　初期設定に戻す......28

- カラー調整値をリセットする......28
- すべての設定内容をリセットする......29

第 4 章　Smart機能を使用する......30

4-1.　「Smart Detection」を設定する......30

4-2.　「Smart Resolution」を設定する......31

4-3.　「Smart Insight 2」を設定する......32

4-4.　設定状態を確認する......32

第 5 章　省電力機能について......33

5-1.　パワーセーブを設定する......33

- モニター......33
- 省電力モード時からの復帰方法を切り替える（HDMIのみ）......34
- 音声出力......34
- USB......35

5-2.　電源ランプの表示を設定する......35

5-3.　モニターの自動明るさ調整を設定する「Auto EcoView」......35

5-4.　まぶしさを軽減する「EcoView Optimizer」......36

5-5.　省電力の度合いを表示する......36

5-6.　モニターの自動電源切断機能の設定をする「オフタイマー」......37

第 6 章　接続する 38
6-1.　複数の外部機器を接続する..............................38
● 入力信号を切り替える 38
6-2.　外部スピーカーを接続する..............................39
第 7 章　こんなときは..40
7-1.　画面が表示されない場合..................................40
7-2.　画面に関する症状..41
7-3.　その他の症状 42
第 8 章　ご参考に 43
8-1.　オプションアーム取付方法..............................43
8-2.　スタンドベースの取外方法/取付方法.............45
8-3.　ケーブルホルダーの取付方法/取外方法 47
8-4.　USB（Universal Serial Bus）の活用について ...48
● 必要なシステム環境.. 48
● 接続方法（USB機能のセットアップ方法） ... 48
8-5.　モニター情報を表示する..................................48
8-6.　仕様...49
第 9 章　用語集..52
付録 54
商標 54
ライセンス/著作権 55
ENERGY STAR..55
VCCI 55
その他規格 55
中国RoHS 56
アフターサービス 57

第 1 章　はじめに

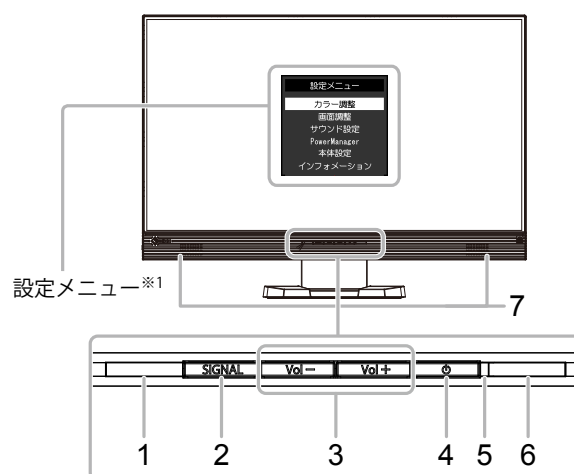
このたびは当社カラー液晶モニターをお買い求めいただき、誠にありがとうございます。

1-1. 特長

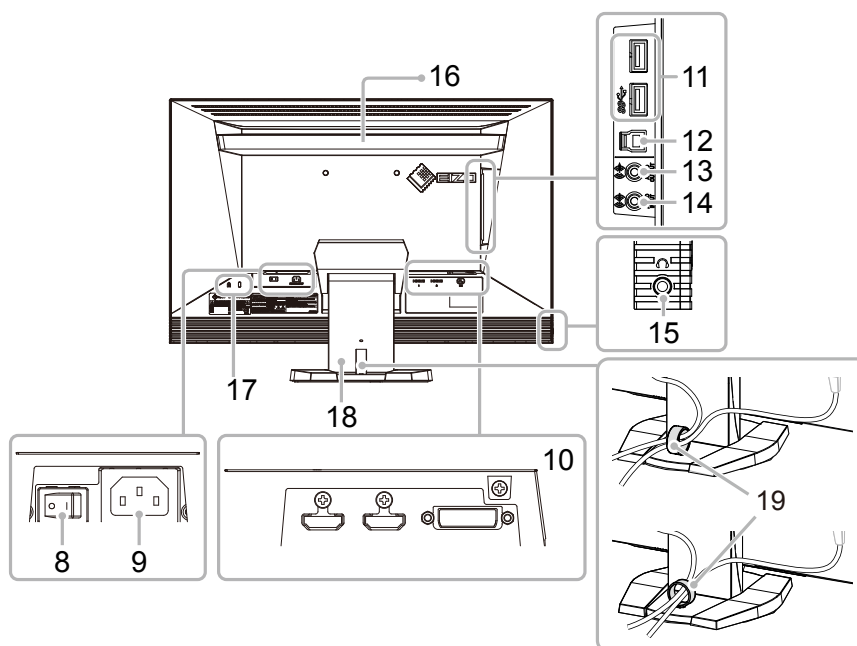
- 23.8型ワイド画面
- 解像度1920×1080対応
- 広視野角パネル採用
  IPSパネルによる上下178°、左右178°の広視野角を実現
- HDMIコネクタ（×2）を搭載
  HDMI入力でPC信号に対応。コンピュータのデジタル信号3系統入力が可能です。
- カラーモード機能を搭載し、表示画像に適した表示モードを選択可能
  「表示モード（カラーモード）を選択する」（P.15）参照
- EIZO独自の「Smart」技術を搭載
  - Smart Detection（スマートディテクション）機能
    Smart Resolution機能、Smart Insight 2機能を適用する領域（画面の動画部分のみ、画面全体）を切り替えることができます。
  - Smart Resolution（スマートレゾリューション）機能
    画像の解像感を調整することで、ぼやけを改善して鮮やかでクリアな表示にすることができます。
    また、「Smart Resolution」の設定によって生じる肌色や文字色への影響を補正することもできます。
  - Smart Insight 2（スマートインサイトツー）機能
    画像を分析し画素ごとに明るさを補正することで、暗くて見えにくい部分を見やすくすることができます。また、色の鮮やかさも増します。

  「第 4 章 Smart機能を使用する」（P.30）参照
- 表示遅延0.05フレーム未満を実現
  マウス、キーボードなどの操作が瞬時に画面に反映されます。
- EyeCare調光方式を採用
  LEDバックライトの低輝度調整時に発生しやすいちらつきを抑えます。
- USB 3.0に対応したUSBハブ機能を搭載
  最大5Gbpsの高速データ転送を実現し、USBメモリなどの大容量データも短時間で転送できます。
- 狭額ベゼル
  ベゼル部が薄いため、マルチモニター使用時でも視線移動の邪魔になりません。
- 可動範囲の広いスタンドを採用
  作業しやすく疲れにくい快適な位置にモニターを調整できます。
  （チルト：上25°/下0°、スウィーベル：344°、昇降：60mm）
- リモコンによる簡単操作、各種調整/設定が可能
  「1-2. 各部の名称と機能」（P.8）参照
- ステレオスピーカー、ヘッドホンジャック装備
  「1-2. 各部の名称と機能」（P.8）参照
- ライン出力コネクタ搭載
  アンプ内蔵のスピーカーを接続し、音声を出力することができます。
  「6-2. 外部スピーカーを接続する」（P.39）参照
- HDCP（著作権保護技術）により保護されたコンテンツを表示可能
- マウスやキーボードを使って画面を調整するソフトウェア「G-Ignition」対応
  当社のWebサイト（http://www.eizo.co.jp）からダウンロードできます。

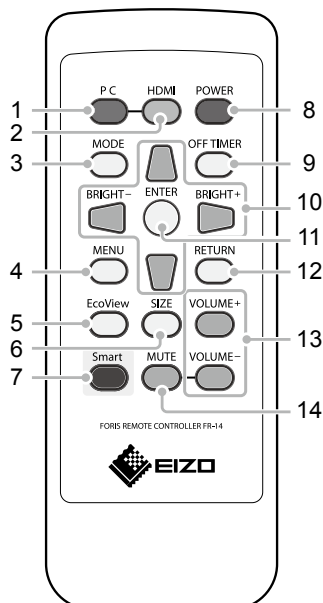
1-2. 各部の名称と機能

● 前面

1. Auto EcoView センサー	周囲の明るさを検知します（Auto EcoView（オートエコビュー）機能（P.35）、EcoView Optimizer（エコビューオプティマイザー）（P.36）機能）。
2. SIGNAL ボタン	表示する入力信号を切り替えます（P.38）。 PC（DVI）→HDMI1→HDMI2
3. Vol −/ Vol +ボタン	音量設定画面を表示し、音量を調整します。
4. ⏻ ボタン	電源のオン/オフを切り替えます。
5. 電源ランプ	モニターの動作状態を表します。 白：　画面表示 橙：　省電力モード 赤：　電源オフ 消灯：　主電源オフ
6. リモコン受光部	リモコンからの信号を受信します。
7. スピーカー	音声を再生します。

※1 使用方法は、「設定メニューの基本操作方法」（P.11）を参照してください。

● 背面

8. 主電源スイッチ	主電源のオン/オフを切り替えます。
9. 電源コネクタ	電源コードを接続します。
10. 信号入力コネクタ	（左：HDMIコネクタ（HDMI1）、中：HDMIコネクタ（HDMI2）、右：DVI-Dコネクタ） コンピュータなどの外部機器を接続します。
11. USBダウンストリームポート	USBに対応している周辺機器と接続できます。
12. USBアップストリームポート	USB接続が必要なソフトウェア、USBハブ機能を使用する場合にUSBケーブルを接続します（P.48）。
13. ライン出力コネクタ	（ステレオミニジャック） アンプ内蔵のスピーカーを接続します（P.39）。
14. ライン入力コネクタ	（ステレオミニジャック） コンピュータなどの外部機器を接続します。
15. ヘッドホンジャック	ヘッドホンを接続します。
16. ハンドル	運搬用のハンドルです。 **注意点** • 運搬時にはハンドルと画面の下部をしっかりと持ち、モニターを落とさないようご注意ください。
17. 盗難防止用ロック	Kensington社製のMicroSaverセキュリティシステムに対応しています。
18. スタンド※2	高さと角度（チルト、スウィーベル）が調整できます。
19. ケーブルホルダー	ケーブルを収納します。

※2 この製品はスタンド部分を取り外すことによって、オプションアーム（またはオプションスタンド）に取り付けることが可能になります（「8-1. オプションアーム取付方法」（P.43）参照）。

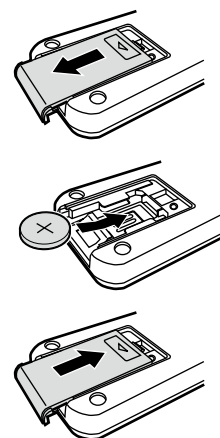
● リモコン

1. PC	PC信号入力に切り替えます。
2. HDMI	HDMI信号入力に切り替えます。 HDMI を押すたびに、HDMI1とHDMI2が切り替わります。
3. MODE	カラーモードを切り替えます。
4. MENU	設定メニューを表示/終了します。
5. EcoView	「EcoViewメニュー」を表示/終了します。
6. SIZE	画面サイズを切り替えます。
7. Smart	「Smart Functions」メニューを表示/終了します。
8. POWER	電源のオン/オフを切り替えます。
9. OFF TIMER	電源が切れるまでの時間を設定します。
10. ◀/▲/▼/▶	• 設定メニューの選択や、機能の調整または設定をします。 • ◀/▶：ブライトネス（明るさ）調整画面を表示します（P.16）。
11. ENTER	各メニューの調整項目を決定したり、調整結果を保存します。
12. RETURN	メニュー操作時、メニューを一つ前の画面に戻します。
13. VOLUME +/−	音量を調整します。
14. MUTE	音声を一時的に消します。

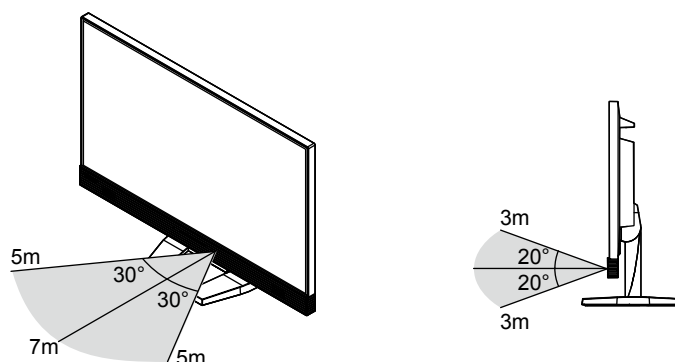
● リモコンについて

電池の入れ方

1. リモコンの底面を上にし、矢印の方向にスライドさせ、カバーを取り外します。

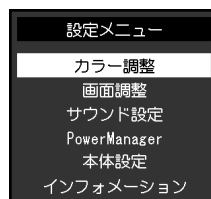
2. 「＋（プラス）」側を上にして、電池を入れます。（電池型番：CR2025）

3. カバーを元に戻します。

リモコン受信範囲

リモコンは図の範囲から操作してください。

1-3. 基本操作と機能一覧

● 設定メニューの基本操作方法

1. 設定メニューの表示

1. リモコンの MENU を押し、設定メニューを表示します。

2. 調整/設定

1. ▲▼で、調整/設定したいメニューを選択し、ENTER を押します。サブメニューが表示されます。

2. ▲▼で、調整/設定したい項目を選択し、ENTER を押します。調整/設定メニューが表示されます。

3. ◀▲▼▶で、調整/設定し、ENTER を押して確定します。

3. 終了

1. MENU を押します。

参考

- リモコンの RETURN を押すと、一つ前のメニュー画面に戻ります。

● 機能一覧

設定メニューおよび各メニューの設定項目の一覧表です。

メインメニュー	項目		参照先
カラー調整※1	カラーモード		「2-3. カラーを調整する」（P.15） （「Smart Functions」については、「第 4 章 Smart機能を使用する」（P.30）を参照してください。）
	ブライトネス		
	黒レベル		
	コントラスト		
	色の濃さ		
	色合い		
	色温度		
	詳細設定	ガンマ	
		ゲイン	
		ノイズ除去	
		コントラスト拡張	
		Smart Functions	
		オーバードライブ	
	カラーリセット		「3-8. 初期設定に戻す」（P.28）
画面調整	カラースペース※2		「2-4. HDMI信号入力時のカラースペースを設定する」（P.21）
	スムージング		「文字や線のぼやけを直す」（P.24）
サウンド設定	音源※2		「3-1. HDMI信号入力時の音源を切り替える」（P.25）
	音声レベル		「3-3. 音声のレベルを調整する」（P.26）
	パワーセーブ		「音声出力」（P.34）
PowerManager	パワーセーブ		「5-1. パワーセーブを設定する」（P.33）
本体設定	操作ロック		「3-4. 操作ボタンをロックする」（P.27）
	起動ロゴ		「3-5. EIZOロゴを表示/非表示にする」（P.27）
	電源ランプ		「5-2. 電源ランプの表示を設定する」（P.35）
	言語選択		「3-6. 表示言語を設定する」（P.27）
	USBパワーセーブ		「USB」（P.35）
	リセット		「3-8. 初期設定に戻す」（P.28）
インフォメーション			「8-5. モニター情報を表示する」（P.48）

※1 「カラー調整」で調整/設定できる機能はモードにより異なります（「各モードの調整項目」（P.16）参照）。
※2 HDMI信号入力の場合に設定できます。

第 2 章　画面を調整する

2-1. 対応解像度/対応フォーマット

この製品は次の解像度/フォーマットに対応しています。

● DVI-D入力時、HDMI（PC信号）入力時

解像度	垂直走査周波数
640×480	60 Hz
720×400	70 Hz
800×600	60 Hz
1024×768	60 Hz
1280×720	60 Hz
1280×1024	60 Hz
1600×900	60 Hz
1680×1050	60 Hz
1920×1080※1	60 Hz

※1 推奨解像度です。

● HDMI（ビデオ信号）入力時

- 映像信号

フォーマット	垂直走査周波数	
	50 Hz	60 Hz
VGA	−	○
480p	−	○
480i	−	○
576p	○	−
576i	○	−
720p	○	○
1080p	○	○
1080i	○	○

- 音声信号
    - 2chリニアPCM（32 kHz / 44.1 kHz / 48 kHz）

2-2. 解像度を設定する

モニターをコンピュータに接続したときに適切な解像度で表示されない場合、または解像度を変更したい場合は、次の手順で解像度を変更します。

Windows 8.1 / Windows 8 / Windows 7の場合

1. Windows 8.1 / Windows 8の場合、スタート画面から「デスクトップ」のタイルをクリックして、デスクトップを表示します。
2. デスクトップ上のアイコンがない場所で、マウスの右ボタンをクリックします。
3. 表示されるメニューから「画面の解像度」をクリックします。
4. 「画面の解像度」ダイアログボックスで、モニターを選択します。
5. 「解像度」をクリックして変更したい解像度を選択します。
6. 選択したら、［OK］ボタンをクリックします。
7. 確認のダイアログボックスが表示されるので、［変更を維持する］ボタンをクリックします。

Windows Vistaの場合

1. デスクトップ上のアイコンがない場所で、マウスの右ボタンをクリックします。
2. 表示されるメニューから「個人設定」をクリックします。
3. 「個人設定」ウィンドウで「画面の設定」をクリックします。
4. 「画面の設定」ダイアログボックスで「モニタ」タブを選択し、「解像度」の欄から変更したい解像度を選択します。
5. 選択したら、［OK］ボタンをクリックします。
6. 確認のダイアログボックスが表示されるので、［はい］ボタンをクリックします。

Mac OS Xの場合

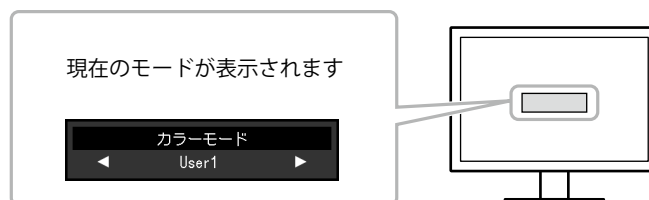
1. アップルメニューの「システム環境設定」をクリックします。
2. 「システム環境設定」ダイアログボックスが表示されるので、「ハードウェア」欄の「ディスプレイ」をクリックします。
3. 表示されたダイアログボックスで「ディスプレイ」タブを選択し、「解像度」の欄から変更したい解像度を選択します。
4. 選択したらすぐに画面が変更されるので、適切な解像度に設定したらウィンドウを閉じます。

2-3. カラーを調整する

● 表示モード（カラーモード）を選択する

モニターの用途に応じた表示モードに簡単に切り替えることができます。

モードの種類

モード	目的
User1	好みに応じた設定をおこなう際に選択します。
User2	
Game（Dark scene）	ゲーム画像が暗い場合の表示に適しています。
Game（Light scene）	ゲーム画像が明るい場合の表示に適しています。
Cinema	映画館のスクリーン映像のような見え方になります。映画などの映像表示に適しています。
Web/sRGB	Webブラウザの表示やsRGB対応の周辺機器と色を合わせる場合に適しています。
Paper	紙に印刷したような見え方になります。書籍や文書などの表示に適しています。

設定方法

1. リモコンのMODEを押します。

   モード名が画面中央に表示されます。

2. MODEを押すたびにモードが順に切り替わり表示されます。

   モードメニュー表示中は、 または でモードを切り替えることもできます。

→**User1←→User2←→Game（Dark scene）←→Game（Light scene）←→Cinema←→Web/sRGB←→Paper←**

参考

- 設定メニューとモード名を同時に表示させることはできません。
- 「G-Ignition」を使うと、使用するソフトウェアに合わせて、カラーモードが自動的に切り替わります。（「G-Ignition」はマウスやキーボードを使って画面を調整するソフトウェアです。当社のWebサイト（http://www.eizo.co.jp）からダウンロードできます。）

● 詳細な調整をする

設定メニューの「カラー調整」で、モードごとに独立したカラー調整の設定、保存ができます。

注意点

- 製品内部の電気部品の動作が安定するのに、約30分かかりますので、モニターの調整は電源を入れて30分以上経過してからおこなってください。
- モニターにはそれぞれ個体差があるため、複数台を並べると同じ画像でも異なる色に見える場合があります。複数台の色を合わせるときは、視覚的に判断しながら微調整してください。

参考

- 「G-Ignition」を使うと、マウスとキーボードの操作でカラー調整をおこなうことができます。また、調整状態をカラーデータとして保存し、読み込むこともできます。

● 各モードの調整項目

モードの種類により、調整できる機能が異なります。（調整/設定できない機能は選択できません。）

各機能の設定方法については、次ページ以降を参照してください。

「Smart Functions」については「第 4 章 Smart機能を使用する」（P.30）を参照してください。

○：調整可　—：調整不可

機能名			カラーモード				
			User1 User2	Game (Dark scene) Game (Light scene)	Cinema	Web/sRGB	Paper
ブライトネス			○	○	○	○	○
黒レベル			○	○	○	—	—
コントラスト			○	○	○	—	—
色の濃さ			○	○	○	—	—
色合い			○	○	○	—	—
色温度			○	○	○	—	○
詳細設定	ガンマ		○	○	○	—	—
	ゲイン		○	—	—	—	—
	ノイズ除去		○	○	—	—	—
	コントラスト拡張		○	○	○	—	—
	Smart Functions	Smart Detection	○	○	—	—	○
		Smart Resolution	○	○	○	—	○
		Smart Insight 2	○	○	○	—	—
	オーバードライブ		○	○	○	—	—
カラーリセット			○	○	○	○	○

● ブライトネス（明るさ）を調整する

バックライト（液晶パネル背面の光源）の明るさを変化させて、画面の明るさを調整します。

設定範囲

0～100

設定方法

1. または で押します。
   ブライトネスメニューが表示されます。
2. または で設定します。
3. 設定が完了したら ENTER を押します。

参考

- ブライトネスが100でも暗いと感じた場合はコントラスト調整をおこなってください。
- 設定メニューの「カラー調整」－「ブライトネス」で調整することもできます。

● 黒の明るさと色を調整する「黒レベル」

赤、緑、青のそれぞれの黒レベルを調整することにより、黒の明るさ、色度を調整します。黒いテストパターンまたは背景を表示して黒レベルを調整してください。

設定範囲

0～100

設定方法

1. 設定メニューの「カラー調整」を選択し、ENTER を押します。
2. 「カラー調整」で「黒レベル」を選択し、ENTER を押します。
   「黒レベル」が表示されます。
3. ◀ または ▶ で設定します。
4. 設定が完了したら ENTER を押します。

参考

- 黒レベル調整後は、必要に応じてコントラストを再調整してください。

● コントラストを調整する

ビデオ信号のレベルを変化させて、画面の明るさを調整します。

設定範囲

0～100

設定方法

1. 設定メニューの「カラー調整」を選択し、ENTER を押します。
2. 「カラー調整」で「コントラスト」を選択し、ENTER を押します。
   「コントラスト」が表示されます。
3. ◀ または ▶ で設定します。
4. 設定が完了したら ENTER を押します。

参考

- 50ですべての色階調を表示します（PC信号入力のみ）。
- 画面の明るさは、初めに、階調特性を損なうことのないブライトネスで調整することをお勧めします。
- コントラスト調整は次のような場合に使用してください。
  - ブライトネスが100でも画面が暗いと感じたとき。（コントラストを50以上に設定します。）

● 色の濃さを調整する

色の濃さを調整します。

設定範囲

-50～50

設定方法

1. 設定メニューの「カラー調整」を選択し、ENTER を押します。
2. 「カラー調整」で「色の濃さ」を選択し、ENTER を押します。
   「色の濃さ」が表示されます。
3. ◀ または ▶ で設定します。
4. 設定が完了したら ENTER を押します。

注意点

- この機能を使用することによって、すべての色階調を表示できないことがあります。

参考

- 最小値（-50）で白黒の画面となります。

● 色合いを調整する

色合いを調整します。

設定範囲

-50～50

設定方法

1. 設定メニューの「カラー調整」を選択し、ENTER を押します。
2. 「カラー調整」で「色合い」を選択し、ENTER を押します。
   「色合い」が表示されます。
3. ◀ または ▶ で設定します。
4. 設定が完了したら ENTER を押します。

注意点

- この機能を使用することによって、すべての色階調を表示できないことがあります。

● 色温度を調整する

色温度を調整します。

通常「白」または「黒」の色合いを数値的に表現するときに用いられるもので、K：Kelvin（ケルビン）という単位で表します。

炎の温度と同様に、画面は色温度が低いと赤っぽく表示され、高いと青っぽく表示されます。また、色温度の設定値ごとにゲインのプリセット値が設定されています。

設定範囲

オフ、4000K～10000K（500K単位、9300K含む）

設定方法

1. 設定メニューの「カラー調整」を選択し、ENTER を押します。
2. 「カラー調整」で「色温度」を選択し、ENTER を押します。
   「色温度」が表示されます。
3. ◀ または ▶ で設定します。
4. 設定が完了したら ENTER を押します。

参考

- 「K」表示は調整の目安としてご利用ください。
- 「ゲイン」でさらに詳細な調整が可能です（「ゲインを調整する」（P.19）参照）。
- 「オフ」でパネル本来の色（ゲインの値はRGB各100）になります。
- ゲインの値を変更すると、色温度は「オフ」になります。

● ガンマを調整する

ガンマ値を調整します。モニターは入力される信号によって明るさが変化しますが、この変化率は入力信号と単純な比例関係にありません。そのため入力信号と明るさの関係が一定の関係になるよう制御をおこなうことをガンマ補正といいます。

設定範囲

1.8、2.0、2.2、2.4、2.6、2.8、Power、RTS

設定方法

1. 設定メニューの「カラー調整」を選択し、ENTER を押します。
2. 「カラー調整」で「詳細設定」を選択し、ENTER を押します。
3. 「詳細設定」で「ガンマ」を選択し、ENTER を押します。
   「ガンマ」が表示されます。
4. ◁ または ▷ で設定します。
5. 設定が完了したら ENTER を押します。

参考

- 「Power」を選択すると中間階調のコントラストを強調したメリハリのある画像になります。
- 「RTS」は、RTSゲームの表示に適した設定で、画面の低階調部を明るくします。

● ゲインを調整する

色を構成する赤、緑、青のそれぞれの明るさをゲインと呼びます。これを調整することで、「白」の色調を変更することができます。

設定範囲

0～100

設定方法

1. 設定メニューの「カラー調整」を選択し、ENTER を押します。
2. 「カラー調整」で「詳細設定」を選択し、ENTER を押します。
3. 「詳細設定」で「ゲイン」を選択し、ENTER を押します。
   「ゲイン」が表示されます。
4. 赤、緑、青それぞれの値を ◁ または ▷ で設定します。
5. 設定が完了したら ENTER を押します。

注意点

- この機能を使用することによって、すべての色階調を表示できないことがあります。

参考

- 色温度の値に応じてゲインの値が変わります。
- ゲインの値を変更すると、色温度は「オフ」になります。

● ノイズを低減する

圧縮された動画を表示したときに見られるブロックノイズ（モザイク状の画像の乱れ）を低減することができます。

設定方法

1. 設定メニューの「カラー調整」を選択し、ENTER を押します。
2. 「カラー調整」で「詳細設定」を選択し、ENTER を押します。
3. 「詳細設定」で「ノイズ除去」を選択し、ENTER を押します。
   「ノイズ除去」が表示されます。
4. または で「有効」または「無効」を選択します。
5. 設定が完了したら ENTER を押します。

注意点

- 「ノイズ除去」を「有効」にすると、精細な画像が損なわれる場合があります。

● コントラスト拡張の強調度合いを設定する

画像の明暗やシーンの変化に応じて、コントラストを自動的に調整することができます。その調整の強さを設定します。

設定範囲

強、普通、オフ

設定方法

1. 設定メニューの「カラー調整」を選択し、ENTER を押します。
2. 「カラー調整」で「詳細設定」を選択し、ENTER を押します。
3. 「詳細設定」で「コントラスト拡張」を選択し、ENTER を押します。
   「コントラスト拡張」が表示されます。
4. または で設定します。
5. 設定が完了したら ENTER を押します。

注意点

- この機能を使用することによって、すべての色階調を表示できないことがあります。

● オーバードライブの強さを設定する

モニターの用途に応じて、オーバードライブの強さを設定することができます。例えば、動きの速いゲーム画像などを表示する場合、「強」にすると残像感を低減できます。

設定範囲

強、普通、オフ

設定方法

1. 設定メニューの「カラー調整」を選択し、ENTER を押します。
2. 「カラー調整」で「詳細設定」を選択し、ENTER を押します。
3. 「詳細設定」で「オーバードライブ」を選択し、ENTER を押します。
   「オーバードライブ」が表示されます。
4. または で設定します。
5. 設定が完了したら ENTER を押します。

注意点

- 次の場合は、オーバードライブ機能が無効になります。
  - 「オーバースキャン」（P.23）が「オフ」のとき
    - ・入力信号の垂直走査周波数が70Hzを超える場合
    - ・「画面サイズ」で「ノーマル」を選択している場合（表示解像度が1920×1080の場合を除く）
  - 「オーバースキャン」（P.23）が「オン」のとき
    - ・表示解像度が640×480、720×480、720×576の場合

2-4. HDMI信号入力時のカラースペースを設定する

HDMI信号入力時のカラースペースを指定できます。正しい色が表示できない場合に「自動」以外に設定します。

○：設定可　―：設定不可

設定	機能	PC信号	ビデオ信号
自動	入力信号のカラースペースを自動的に判別します（推奨）。	―	○
YUV 4:2:2	入力信号のカラースペースを、YUV 4:2:2として扱います。	○	○
YUV 4:4:4	入力信号のカラースペースを、YUV 4:4:4として扱います。	○	○
RGBフルレンジ	入力信号のカラースペースを、RGB（0～255）として扱います。	○	○
RGBリミテッドレンジ	入力信号のカラースペースを、RGB（16～235）として扱います。	○	○

設定方法

1. 設定メニューの「画面調整」を選択し、ENTER を押します。
2. 「画面調整」で「カラースペース」を選択し、ENTER を押します。
   「カラースペース」が表示されます。
3. または で設定します。
4. 設定が完了したら ENTER を押します。

注意点

- DVI-HDMI変換コネクタを使用してDVI機器をモニターのHDMIコネクタに接続している場合、設定が必要です。
- 「自動」に設定した場合でも、正しく表示できない場合があります。その場合は、正しく画面が表示される設定に変更してください。

2-5. 画面サイズを切り替える

● DVI-D入力時、HDMI（PC信号）入力時

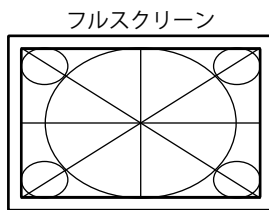
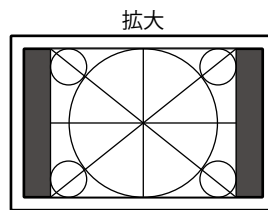
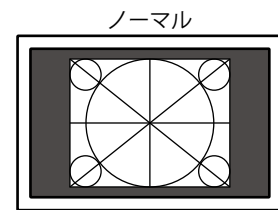
推奨解像度以外の解像度は、自動的に画面全体に拡大されますが、「画面サイズ」機能を使用して表示サイズを切り替えることができます。

設定	機能
フルスクリーン	画面全体に画像を表示します。ただし、拡大比率は縦、横一定ではないため、表示画像に歪みが見られる場合があります。
拡大	画面全体に画像を表示します。ただし、拡大比率を縦、横一定にするため、水平、垂直のどちらかの方向に画像が表示されない部分が残る場合があります。
ノーマル	設定した解像度のままの大きさで画像が表示されます。

例：1024×768を表示した場合

フルスクリーン

（1920×1080）

拡大

（1440×1080）

ノーマル

（1024×768）

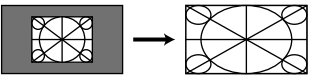
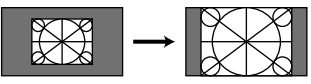
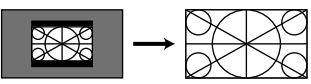
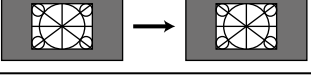
設定方法

1. リモコンの SIZE を押します。

   SIZE を押すたびに、サイズが切り替わります。

注意点

- 「ノーマル」を選択した場合、すべての色階調を表示できないことがあります。

参考

- 「ノーマル」選択時は、表示遅延が2フレーム以下となります。

● HDMI（ビデオ信号）入力時

「画面サイズ」機能を使用して表示サイズを切り替えることができます。

設定	機能	画面の見え方
自動	外部機器から送信されてくるアスペクト比情報※1と解像度情報に応じて、自動的に表示サイズを切り替えます。HDMI（SD信号）入力時にのみ設定できます。	
フルスクリーン	画面全体に画像を表示します。ただし、拡大比率は縦、横一定ではないため、表示画像に歪みが見られる場合があります。	
拡大	画面全体に画像を表示します。ただし、拡大比率を縦、横一定にするため、水平、垂直のどちらかの方向に画像が表示されない部分が残る場合があります。	
レターボックス	16：9のレターボックスを画面全体に表示します。レターボックス以外は映像の上下が一部切れます。HDMI（SD信号）入力時にのみ設定できます。	
ノーマル※2	入力信号のままの大きさで画像が表示されます。	

※1 レターボックスのアスペクト比情報は自動的に判別することができません。
※2 「画面サイズ」が「ノーマル」の場合、「オーバースキャン」は「オフ」に固定されます。

設定方法

1. リモコンの SIZE を押します。

   SIZE を押すたびに、サイズが切り替わります。

注意点

- 「ノーマル」を選択した場合、すべての色階調を表示できないことがあります。

参考

- 「ノーマル」選択時は、表示遅延が2フレーム以下となります。

表示率を設定する

画像の端の歪みやノイズを隠すため、画像の周辺部を表示しないよう入力映像の表示範囲を切り替えることができます。

設定	機能
オン	入力映像の上下左右の一部を切り取った状態で画面を表示します。
オフ	入力映像のほぼすべてを画面に表示します。

設定方法

1. リモコンの SIZE を押します。

   「画面サイズ」が表示されます。

2. ▽で「オーバースキャン」を選択します。
3. ◁または▷で設定します。
4. 設定が完了したら ENTER を押します。

注意点

- 「画面サイズ」が「ノーマル」の場合、「オーバースキャン」は「オフ」に固定されます。

● 文字や線のぼやけを直す

推奨解像度以外の解像度で表示した場合、表示された画像の文字や線がぼやけて見える場合があります。

注意点

- 表示解像度によってはスムージングの設定をする必要はありません。（スムージングアイコンを選択することはできません。）

設定範囲

1～5

設定方法

1. 設定メニューの「画面調整」を選択し、ENTER を押します。
2. 「画面調整」で「スムージング」を選択し、ENTER を押します。
   「スムージング」が表示されます。
3. ◁ または ▷ で設定します。
4. 設定が完了したら ENTER を押します。

第 3 章　モニターを設定する

3-1. HDMI信号入力時の音源を切り替える

HDMI信号入力時の音源を切り替えます。HDMI/ステレオミニジャックが選択できます。

設定方法

1. 設定メニューの「サウンド設定」を選択し、ENTER を押します。
2. 「サウンド設定」で「音源」を選択し、ENTER を押します。
   「音源」が表示されます。
3. [◀] または [▶] で「HDMI」または「ステレオミニジャック」を選択します。
4. 設定が完了したら ENTER を押します。

参考

- HDMI信号入力の場合に変更できます。ただし、DVI-HDMI変換ケーブルを使用している場合は、「ステレオミニジャック」となり、変更できません。

3-2. 音量を調整する

● 音量を調整する

スピーカーやヘッドホンの音量を調整することができます。

設定範囲

0～30

設定方法

1. リモコンの VOLUME+ または VOLUME− を押します。

参考

- 本体操作ボタンの Vol ＋または Vol ーで調整することもできます（「1-2. 各部の名称と機能」（P.8）参照）。
- 音量は、HDMI入力とステレオミニジャックで共通の設定となります。

注意点

- ライン出力コネクタにアンプ内蔵スピーカーを接続している場合、音量は外部スピーカー側で操作してください。モニターのリモコンや本体操作ボタンでは操作できません。
- 次の条件が重なると、音量を調整しようとしたときに「現在この操作はできません。」と表示されます。
  - ヘッドホンを接続していない
  - ライン出力コネクタにアンプ内蔵スピーカーを接続している

● 音を消す

設定方法

1. リモコンの MUTE を押します。

   音声が一時的に消えます。もう一度ボタンを押すか VOLUME+ を押して音量を上げると、音声が出ます。

参考

- 本体操作ボタンの **Vol ＋** を押しても、消音を解除することができます。
- 消音中に VOLUME− または本体操作ボタンの **Vol −** を押すと、消音状態のままで音量を下げることができます。

注意点

- ライン出力コネクタにアンプ内蔵スピーカーを接続している場合、音量は外部スピーカー側で操作してください。モニターのリモコンでは操作できません。
- 次の条件が重なると、消音しようとしたときに「現在この操作はできません。」と表示されます。
  - ヘッドホンを接続していない
  - ライン出力コネクタにアンプ内蔵スピーカーを接続している

3-3. 音声のレベルを調整する

入力する音声のレベルを調整します。

外部機器の平均的な音声レベルが異なるため、入力によって音量差が生じることがあります。レベルを調整することで、音量差を軽減することができます。例えば、HDMI1とHDMI2で音量差が大きくなったときは、音量が小さいほうの「音声レベル」の設定を上げると、音量差を軽減できます。

設定範囲

-1～1

設定方法

1. 設定メニューの「サウンド設定」を選択し、ENTER を押します。
2. 「サウンド設定」で「音声レベル」を選択し、ENTER を押します。

   「音声レベル」が表示されます。
3. ◀ または ▶ で設定します。
4. 設定が完了したら ENTER を押します。

注意点

- この機能は、モニター本体のスピーカーおよびヘッドホンへの音声に対して働きます。

3-4. 操作ボタンをロックする

本体操作ボタンでの操作をロックします。

設定方法

1. 設定メニューの「本体設定」を選択し、ENTER を押します。
2. 「本体設定」で「操作ロック」を選択し、ENTER を押します。
   「操作ロック」が表示されます。
3. または で「オン」を選択します。
4. 設定が完了したら ENTER を押します。

参考

- ロックした状態でも次の操作は可能です。
  - 電源ボタンによる電源オン/オフ
- リモコンによる操作はロックされません。

3-5. EIZOロゴを表示/非表示にする

この製品の電源を入れたときに、EIZOロゴが表示されます。このロゴの表示/非表示の切り替えができます。

設定方法

1. 設定メニューの「本体設定」を選択し、ENTER を押します。
2. 「本体設定」で「起動ロゴ」を選択し、ENTER を押します。
   「起動ロゴ」が表示されます。
3. または で「オン」または「オフ」を選択します。
4. 設定が完了したら ENTER を押します。

3-6. 表示言語を設定する

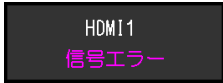
設定メニューやメッセージの表示言語が選択できます。

選択できる言語

英語、ドイツ語、フランス語、スペイン語、イタリア語、スウェーデン語、日本語、中国語（簡体）、中国語（繁体）

設定方法

1. 設定メニューの「本体設定」を選択し、ENTER を押します。
2. 「本体設定」で「言語選択」を選択し、ENTER を押します。
   「言語選択」が表示されます。
3. または で言語を選択します。
4. 設定が完了したら ENTER を押します。

3-7. HDMI信号入力時の認証方法を切り替える

ご使用の外部機器によっては機器間の認証が正常におこなわれず、画面が表示されない場合があります。その場合は、次の手順で認証方法切り替えてください。

設定方法

1. リモコンのPOWERまたは本体操作ボタンの⏻を押して、モニターの電源を切ります。
2. 本体操作ボタンのSIGNALを5秒以上押します。
   認証方法が切り替わり、モニターの電源が入ります。

参考

- 入力ポートや信号エラーの表示の配色によって、現在の認証方法を判断することができます。

方法	入力ポート	信号エラー
1 (初期設定)	HDMI1	HDMI1 信号エラー
2	HDMI1	HDMI1 信号エラー

3-8. 初期設定に戻す

リセットには、カラー調整のみを初期設定に戻すカラーリセットと、すべての設定内容を初期設定に戻すオールリセットの2種類があります。

注意点

- リセット実行後は、リセット前の状態に戻すことはできません。

参考

- 初期値については、「主な初期設定値」(P.50)を参照してください。

● カラー調整値をリセットする

現在選択しているモードのカラー調整値のみを初期設定に戻します。

設定方法

1. 設定メニューの「カラー調整」を選択し、ENTERを押します。
2. 「カラー調整」で「カラーリセット」を選択し、ENTERを押します。
3. ◀または▶で「はい」を選択します。
4. ENTERを押します。
   カラー調整値が初期設定になります。

● すべての設定内容をリセットする

すべての設定内容を初期設定に戻します。

注意点

- HDMI信号入力時の認証方法（「3-7. HDMI信号入力時の認証方法を切り替える」（P.28））および省電力モードからの復帰方法（「省電力モード時からの復帰方法を切り替える（HDMIのみ）」（P.34））は、リセットを実行しても初期設定には戻りません。

設定方法

1. 設定メニューの「本体設定」を選択し、ENTER を押します。
2. 「本体設定」で「リセット」を選択し、ENTER を押します。
3. ◁ または ▷ で「はい」を選択します。
4. ENTER を押します。

   すべての設定内容が初期設定になります。

第 4 章　Smart機能を使用する

4-1. 「Smart Detection」を設定する

「Smart Resolution」、「Smart Insight 2」の設定を適用する領域（画面の動画部分のみ、画面全体）を選択することができます。

設定	機能
動画	画面の動画部分を検出し、検出した部分にのみ設定を適用します。
フルスクリーン	画面全体に設定を適用します。

設定方法

1. リモコンの Smart を押します。
   「Smart Functions」メニューが表示されます。
2. 「Smart Detection」を選択し、ENTER を押します。
   「Smart Detection」が表示されます。
3. ◀ または ▶ で「動画」または「フルスクリーン」を選択します。
4. 設定が完了したら ENTER を押します。

参考

- 次の状態では「Smart Detection」の設定が「フルスクリーン」に固定されます。
  - インターレース信号入力時
  - カラーモードで「Cinema」を選択している場合
- 動画を画面全体に表示する場合は、「フルスクリーン」に設定してください。

4-2. 「Smart Resolution」を設定する

画像の解像感を調整します。ぼやけを改善し、鮮やかでクリアな表示にすることができます。
また、「Smart Resolution」の設定によって生じる肌色や文字色への影響を補正することもできます。

- 肌補正：　画像の肌色部分を検出し、肌色が自然な見え方になるよう補正します。
- 文字補正：画像の文字部分を検出し、文字の色付きや文字周辺部のにじみを抑えるよう補正します。

設定範囲

1～5、オフ

設定方法

1. リモコンの Smart を押します。
   「Smart Functions」メニューが表示されます。
2. ▽で「Smart Resolution」を選択し、ENTER を押します。
   「Smart Resolution」が表示されます。
3. ◁または▷で補正度合いを設定します。
4. 設定を完了する場合は、手順7に進んでください。
   引き続き、「肌補正」/「文字補正」をおこなう場合は、手順5に進んでください。
5. 補正したい項目を選択し、ENTER を押します。
   それぞれの設定画面が表示されます。
6. ◁または▷で「有効」または「無効」を選択します。
7. 設定が完了したら ENTER を押します。

注意点

- 「Smart Resolution」の設定を「オフ」にすると、「肌補正」/「文字補正」が選択できなくなります。
- 「文字補正」は次の条件をすべて満たす場合にのみ有効です。
  - ノンインターレース信号入力時
  - 画面サイズ機能で、画面を拡大表示していない場合（「2-5. 画面サイズを切り替える」（P.22）参照）

4-3. 「Smart Insight 2」を設定する

画像を分析し画素ごとに明るさを補正することで、暗くて見えにくい部分を見やすくすることができます。また、色の鮮やかさも増します。
暗い部分が見えにくい映像や、明るい環境でモニターを使用するときなどに利用すると効果的です。

注意点

- 「Smart Insight 2」は表示されるシーンに応じて明るさを補正しています。そのため、シーンの切り替わり時などに、ゆっくりと明るさが変化する場合があります。

設定範囲

表示モード（P.15）によって、設定範囲が変わります。

- User1、User2、Cinema、Web/sRGB、Paperの場合
  1～5、オフ
- Game（Dark scene）、Game（Light scene）の場合
  RTS（Low）、RTS（Medium）、RTS（High）/FPS（Low）、FPS（Medium）、FPS（High）、オフ

参考

- 表示モードが「Game（Dark scene）」と「Game（Light scene）」の場合は、表示するゲーム（RTS、FPS）と補正度合い（Low～High）に応じて設定してください。
- RTS、FPS以外のゲームをご使用の場合は、好みに応じて設定してください。「RTS（Low）」→「RTS（Medium）」→「RTS（High）/FPS（Low）」→「FPS（Medium）」→「FPS（High）」の順で補正度合いが強くなります。

設定方法

1. リモコンの Smart を押します。
   「Smart Functions」メニューが表示されます。
2. ▽で「Smart Insight 2」を選択し、ENTER を押します。
   「Smart Insight 2」が表示されます。
3. ◁または▷で補正度合いを設定します。
4. 設定が完了したら ENTER を押します。

4-4. 設定状態を確認する

「Smart Functions」メニューの設定状態をデモ画面で確認することができます。

デモ画面への切替方法

1. 「Smart Functions」メニューの表示中に、◁または▷を2秒以上押します。
   デモ画面に切り替わります。
   -画面左半分：「Smart Functions」メニューの設定が適用されている状態
   -画面右半分：「Smart Functions」メニューの設定が適用されていない状態

参考

- デモ表示中にも、「Smart Functions」メニューを表示し、それぞれの設定を変更することができます。
  Smart、MENU、◁、▷のいずれかのボタンを押すとメニューが表示されます。
- 「Smart Detection」を「動画」に設定すると、動画として検出された領域を囲うマゼンタ色の枠がデモ画面上に表示されます。
- デモ画面から通常表示に戻すには、「Smart Functions」メニューの表示中に◁または▷を2秒以上押してください。

第 5 章　省電力機能について

5-1. パワーセーブを設定する

● モニター

外部機器の状態と連動してモニターを省電力モードにする/しないの切り替えができます。省電力モードに移行すると画面を非表示にします。

注意点

- 主電源を切るか、電源プラグを抜くことで、確実にモニター本体への電源供給は停止します。
- ステレオミニジャックケーブルが接続されている場合も消費電力は変化します。

参考

- 信号が入力されなくなったことを検出してから、約15秒後に省電力モードに移行します。

設定方法

1. 設定メニューの「PowerManager」を選択し、ENTER を押します。
2. 「PowerManager」で「パワーセーブ」を選択し、ENTER を押します。
   「パワーセーブ」が表示されます。
3. ◀ または ▶ で「有効」または「無効」を選択します。
4. 設定が完了したら ENTER を押します。

省電力の流れ

外部機器がコンピュータの場合

「DVI DMPM」に準拠しています。

コンピュータの状態	モニターの状態	電源ランプ
オン	オペレーションモード	白
省電力モード	省電力モード	橙
電源オフ	省電力モード	橙

外部機器がコンピュータ以外の場合

外部機器の状態	モニターの状態	電源ランプ
電源オン	オペレーションモード	白
電源オフ	省電力モード	橙

注意点

- 次の条件が重なると、「パワーセーブ」を「有効」に設定していてもモニターが省電力モードに移行しません。
  - サウンド設定の「パワーセーブ」を「サウンド オン」に設定している（「音声出力」（P.34））
  - 消音状態にしている（「音を消す」（P.26））
  このような場合には、消音を解除してください。

省電力モードからの復帰方法

モニターに信号が入力されると、自動的に復帰し画面が表示されます。

● 省電力モード時からの復帰方法を切り替える（HDMIのみ）

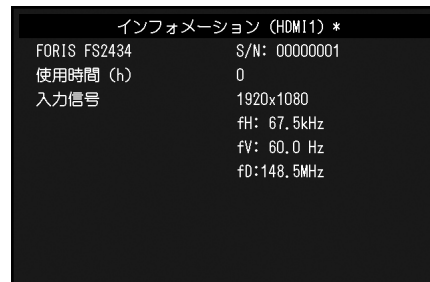
次のような場合には省電力モード時からの復帰方法を切り替えてください。

- 省電力モード時からの復帰時間を短くしたいとき
- モニターに信号を入力しても、画面が表示されないとき

設定方法

1. リモコンのPOWERまたは本体操作ボタンの⏻を押して、モニターの電源を切ります。
2. 本体操作ボタンの**Vol −**を5秒以上押します。
   復帰方法が切り替わり、モニターの電源が入ります。

注意点

- 復帰方法を切り替えると、省電力モード時の消費電力が若干増加します。
  また、設定メニューの「インフォメーション」のメニュータイトルに「*」が表示されます（「8-5. モニター情報を表示する」（P.48）参照）。

● 音声出力

モニターの省電力モード時に、スピーカーまたはヘッドホンから音声を出力する/しないの切り替えができます。

設定方法

1. 設定メニューの「サウンド設定」を選択し、ENTERを押します。
2. 「サウンド設定」で「パワーセーブ」を選択し、ENTERを押します。
   「パワーセーブ」が表示されます。
3. ◀または▶で「サウンド オン」または「サウンド オフ」を選択します。
4. 設定が完了したらENTERを押します。

注意点

- HDMI信号入力時、音源がHDMIの場合は、モニターの省電力モード時に音声は出力されません。
- 次のすべての条件に当てはまる場合、音声は出力されません。
  - HDMI信号を入力している
  - 「サウンド設定」の「音源」で「HDMI」を選択している
  - モニターが省電力モードに移行している

● USB

画面調整用ソフトウェア「G-Ignition」を使用しない場合に、電源オフ時および省電力モード時の消費電力を抑えることができます。

注意点

- 「G-Ignition」をインストールすると、「USBパワーセーブ」の設定が自動的に「無効」に切り替わります。
- USBハブ機能は本設定にかかわらず、使用できます。

設定方法

1. 設定メニューの「本体設定」を選択し、ENTER を押します。
2. 「本体設定」で「USBパワーセーブ」を選択し、ENTER を押します。
   「USBパワーセーブ」が表示されます。
3. ◁ または ▷ で「有効」または「無効」を選択します。
4. 設定が完了したら ENTER を押します。

5-2. 電源ランプの表示を設定する

画面表示時の電源ランプ（白）の点灯/消灯の切り替えができます。

設定方法

1. 設定メニューの「本体設定」を選択し、ENTER を押します。
2. 「本体設定」で「電源ランプ」を選択し、ENTER を押します。
   「電源ランプ」が表示されます。
3. ◁ または ▷ で「有効」または「無効」を選択します。
4. 設定が完了したら ENTER を押します。

5-3. モニターの自動明るさ調整を設定する「Auto EcoView」

Auto EcoView（オートエコビュー）を使用すると、モニター下部のセンサーが周囲の明るさを検知し、明るさに応じて自動的に画面の明るさを調整します。

注意点

- Auto EcoView機能を使用する場合はセンサーをふさがないように注意してください。

設定方法

1. リモコンの EcoView を押します。
2. 「EcoViewメニュー」で「Auto EcoView」を選択し、ENTER を押します。
   「Auto EcoView」が表示されます。
3. ◁ または ▷ で「強」/「標準」/「オフ」のいずれかを選択します。
4. 設定が完了したら ENTER を押します。

参考

- Auto EcoViewの自動調整の範囲は、設定メニューの「ブライトネス」を調整すると、連動して変更されます。
- 「標準」の設定で画面が明るく感じるときに「強」にしてください。

5-4. まぶしさを軽減する「EcoView Optimizer」

EcoView Optimizer（エコビューオプティマイザー）を使用すると、周囲の明るさと入力信号の白レベルに応じて、画面の明るさを調整します。Auto EcoViewとあわせて使用することで、より快適な明るさになり、まぶしさを軽減できます。

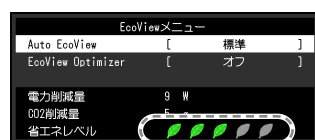
設定方法

1. リモコンの EcoView を押します。
2. 「EcoViewメニュー」で「EcoView Optimizer」を選択し、ENTER を押します。
   「EcoView Optimizer」が表示されます。
3. ◀ または ▶ で「オン」または「オフ」を選択します。
4. 設定が完了したら ENTER を押します。

注意点

- EcoView Optimizer 機能を使用する場合は外光センサーをふさがないように注意してください。

5-5. 省電力の度合いを表示する

EcoViewメニューで電力削減量、CO_2削減量、省エネレベルを確認できます。省エネレベルを表すインジケータが多く点灯するにつれ、省電力の度合いが高くなります。

設定方法

1. リモコンの EcoView を押します。
   「EcoViewメニュー」が表示されます。

参考

- 電力削減量：ブライトネスの調整値に応じた、バックライト消費電力の低減量です。
- CO_2削減量：電力削減量から換算した、モニターを1時間使用した場合に削減できるCO_2排出量の目安です。

※ 数値は「特定排出者の事業活動に伴う温室効果ガスの排出量の算定に関する省令（平成18 年経済産業省環境省令第3 号）に定める初期設定値（0.000555t-CO2/kWh）」を元に算出しており、国、年度などによって変わる可能性があります。

5-6. モニターの自動電源切断機能の設定をする「オフタイマー」

モニターの電源を自動的に切るまでの時間を設定できます。

設定範囲

無効、30、60、90、120、150、180分

設定方法

1. リモコンのOFF TIMERを押します。
   OFF TIMERを押すたびに、設定時間が切り替わります。

解除方法

1. 「無効」が表示されるまで、OFF TIMERを押します。

残り時間の確認方法

1. オフタイマーの設定中に、OFF TIMERを押します。
   電源が切れるまでの時間が表示されます。

延長方法

1. 残り時間の表示中に、OFF TIMERを押します。
   OFF TIMERを押すたびに、時間が延長されます。

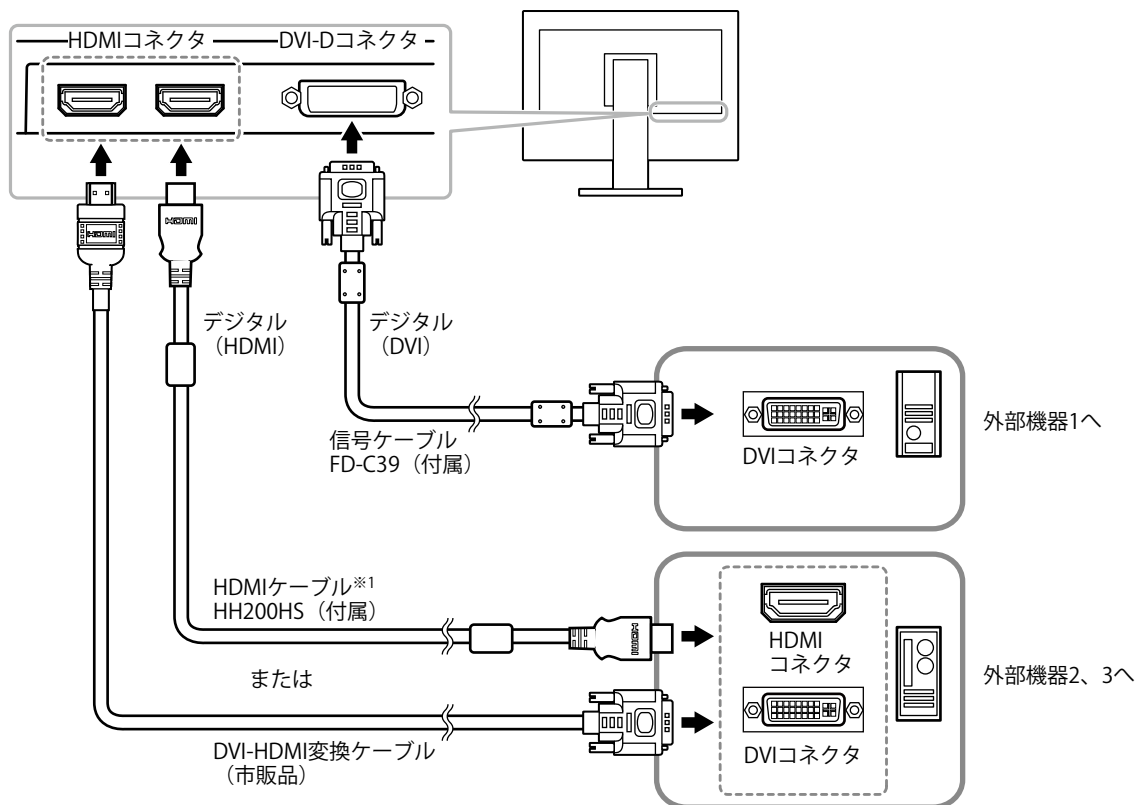
第 6 章　接続する

6-1. 複数の外部機器を接続する

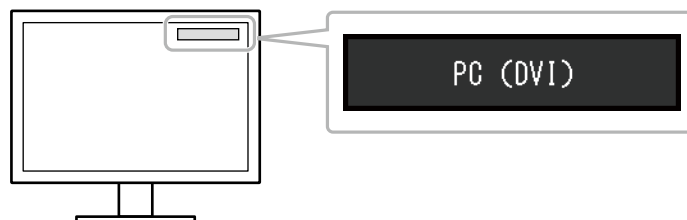
この製品は、複数の外部機器を接続し、切り替えて表示することができます。

注意点

- Dual Linkケーブルは使用しないでください。

接続例

※1 High Speed対応品をご使用ください。

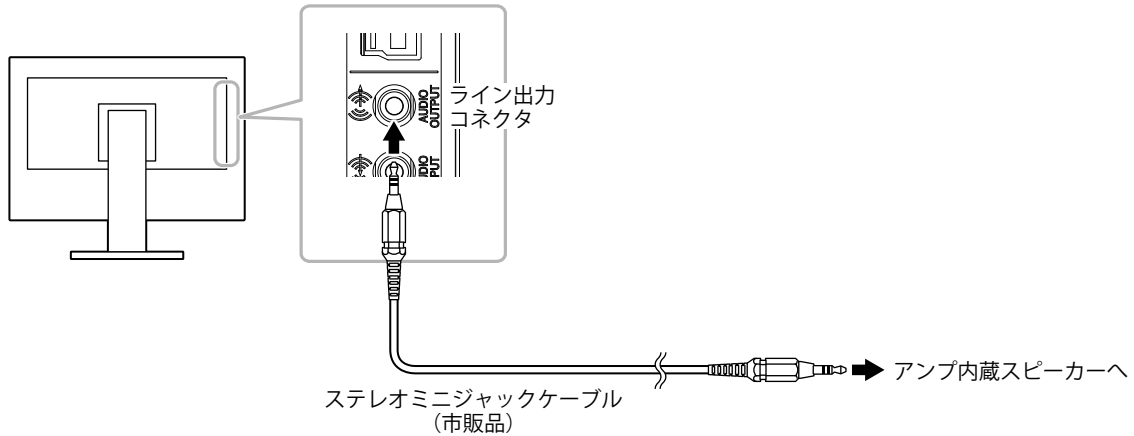
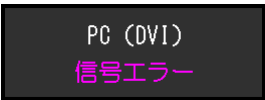
● 入力信号を切り替える

リモコンのＰＣまたはHDMIを押すと、入力信号が切り替わります。
画面右上に選択された入力ポート名が表示されます。

参考

- 本体操作ボタンのSIGNALで入力を切り替えることもできます（「1-2. 各部の名称と機能」（P.8）参照）。

6-2. 外部スピーカーを接続する

この製品にアンプ内蔵のスピーカーを接続して、コンピュータやゲームなどの外部機器からの音声を出力することができます。

接続例

注意点

- 音量は外部スピーカー側で操作してください。モニターのリモコンや本体操作ボタンでは操作できません。
- ライン出力コネクタにアンプ内蔵スピーカーを接続すると、モニター本体のスピーカーから音声が出なくなります。
- アンプ内蔵スピーカーを接続した状態で、モニターにヘッドホンを接続すると、アンプ内蔵スピーカーから音声が出なくなります。

第７章　こんなときは

症状に対する処置をおこなっても解消されない場合は、EIZOコンタクトセンターまたはEIZOサポートにご相談ください。

7-1. 画面が表示されない場合

症状	原因と対処方法
1. 画面が表示されない ・電源ランプが点灯しない	・電源コードは正しく接続されていますか。 ・主電源を入れてください。 ・主電源を切り、数分後にもう一度電源を入れてみてください。
・電源ランプが点灯：赤色	・リモコンのPOWERを押すか、または本体操作ボタンの⏻を押してみてください。
・電源ランプが点灯：白色	・設定メニューの「ブライトネス」、「コントラスト」、「ゲイン」の各調整値を上げてみてください（「詳細な調整をする」（P.15）参照）。
・電源ランプが点灯：橙色	・信号ケーブルは正しく接続されていますか。 ・外部機器の電源は入っていますか。 ・マウス、キーボードを操作してみてください。 ・入力信号を切り替えてみてください。 ・外部機器を接続している場合は、省電力モードからの復帰方法を切り替えてみてください。いったん電源を切り、本体操作ボタンのVol －を5秒以上押すと、復帰方法が切り替わり電源が入ります（「省電力モード時からの復帰方法を切り替える（HDMIのみ）」（P.34）参照）。 ・外部機器をHDMIポートに接続している場合は、認証方法を切り替えてみてください。いったん電源を切り、本体操作ボタンのSIGNALを5秒以上押すと、認証方法が切り替わり電源が入ります（「3-7. HDMI信号入力時の認証方法を切り替える」（P.28）参照）。
2. 次のようなメッセージが表示される	この表示はモニターが正常に機能していても、信号が正しく入力されないときに表示されます。
例： PC (DVI) 信号エラー	・入力されている信号が仕様範囲外であることを示す表示です。 ・DVI-D、HDMI（PC信号）入力時は、次の対処方法も確認してみてください。 - コンピュータの設定が、この製品で表示できる解像度、垂直走査周波数になっていますか（「2-1. 対応解像度/対応フォーマット」（P.13）参照）。 - コンピュータを再起動してみてください。 - グラフィックスボードのユーティリティなどで、適切な設定に変更してください。詳細はグラフィックスボードの取扱説明書を参照してください。

7-2. 画面に関する症状

症状	原因と対処方法
1. 画面が明るすぎる/暗すぎる	• 設定メニューの「ブライトネス」、「コントラスト」を調整してください（「詳細な調整をする」（P.15）参照）。（液晶モニターのバックライトには、寿命があります。画面が暗くなったり、ちらついたりするようになったら、EIZOサポートにご相談ください。） • 画面が明るすぎる場合は、Auto EcoView（オートエコビュー）およびEcoView Optimizer（エコビューオプティマイザー）をオンにしてみてください（「5-3. モニターの自動明るさ調整を設定する「Auto EcoView」」（P.35）、「5-4. まぶしさを軽減する「EcoView Optimizer」」（P.36）参照）。周囲の明るさに応じて自動的に画面の明るさを調整します。
2. 文字がぼやけて見える	• コンピュータの設定が、この製品で表示できる解像度、垂直走査周波数になっていますか（「2-1. 対応解像度/対応フォーマット」（P.13）参照）。 • 設定メニューの「スムージング」で調整してみてください（「文字や線のぼやけを直す」（P.24）参照）。
3. 残像が現れる	• この現象は液晶パネルの特性であり、固定画面で長時間使用することをできるだけ避けることをお勧めします。 • 長時間同じ画像を表示する場合は、コンピュータのスクリーンセーバーまたはパワーセーブ機能を使用してください。
4. 画面に緑、赤、青、白のドットが残るまたは点灯しないドットが残る	• これらのドットが残るのは液晶パネルの特性であり、故障ではありません。
5. 画面上に干渉縞が見られる/パネルを押した跡が消えない	• 画面全体に白い画像または黒い画像を表示してみてください。症状が解消されることがあります。
6. 画面にノイズが現れる	• 設定メニューの「オーバードライブ」の設定を「オフ」にしてみてください（「オーバードライブの強さを設定する」（P.21）参照）。 • HDCPの信号を入力した場合、正常な画面がすぐに表示されないことがあります。
7. 画面が白っぽい、黒っぽい	• 設定メニューの「黒レベル」（「黒の明るさと色を調整する「黒レベル」」（P.17）参照）、「コントラスト」（「コントラストを調整する」（P.17）参照）で調整してみてください。
8. 画面の色がおかしい（HDMI入力時）	• 設定メニューの「画面調整」-「カラースペース」で映像信号のカラースペース（色空間）を変更してみてください（「2-4. HDMI信号入力時のカラースペースを設定する」（P.21）参照）。
9. 画面が点滅する（HDMI入力時）	• HDMIケーブルのカテゴリにより伝送できる信号が異なります。ケーブルがHigh Speedに対応しているか確認してください。
10. 画面が白っぽい、黒っぽい（HDMI入力時）	• 設定メニューの「画面調整」-「カラースペース」で調整してみてください（「2-4. HDMI信号入力時のカラースペースを設定する」（P.21）参照）。

7-3. その他の症状

症状	原因と対処方法
1. 設定メニューにおいて、「画面調整」の「スムージング」が選択できない	• 次の表示解像度や設定の場合は、スムージングを選択することができません。 - 解像度が1920×1080の場合 - 画面サイズが「ノーマル」の場合
2. 音声が出ない	• ステレオミニジャックケーブルは正しく接続されていますか。 • 外部機器および音声を再生しているソフトウェアの設定を確認してください。 • HDMI入力時は外部機器および設定メニューの「音源」の設定を確認してみてください（「3-1. HDMI信号入力時の音源を切り替える」（P.25）参照）。 • モニター本体のスピーカーの場合 - ライン出力コネクタにアンプ内蔵スピーカーを接続していませんか。 - 音量が「0」になっていませんか。 • ヘッドホンの場合 - 音量が「0」になっていませんか。 • ライン出力コネクタに接続したアンプ内蔵スピーカーの場合 - ヘッドホンを接続していませんか。
3. ライン出力コネクタに接続したアンプ内蔵スピーカーの音量が調整できない	• この製品では外部スピーカーの音量を調整することはできません。音量は外部スピーカー側で調整してください。
4. 省電力モードに移行しない	• 次の条件が重なると、「パワーセーブ」を「有効」に設定していてもモニターが省電力モードに移行しません。 - サウンド設定の「パワーセーブ」を「サウンド オン」に設定している（「音声出力」（P.34）） - 消音状態にしている（「音を消す」（P.26）） このような場合には、消音を解除してください。
5. 「現在この操作はできません。」と表示される	• この表示は次のような場合に表示されます。 - リモコンの VOLUME+ / VOLUME−、または本体操作ボタンの **Vol ＋ / Vol －** を押したとき： ライン出力コネクタに接続したアンプ内蔵スピーカーの音量を調整することはできません（「3-2. 音量を調整する」（P.25）参照）。 - リモコンの Smart を押したとき： カラーモードで「Web/sRGB」を選択している場合、Smart機能を使用することはできません（「第 4 章 Smart機能を使用する」（P.30）参照）。
6. モニターに接続しているUSB周辺機器が動作しない	• USBケーブルは正しく接続されていますか（「8-4. USB（Universal Serial Bus）の活用について」（P.48）参照）。 • 別のUSBポートに差し替えてみてください。別のポートで正しく動作した場合は、EIZOサポートにご相談ください（詳細はコンピュータの取扱説明書を参照してください）。 • コンピュータを再起動してみてください。 • 直接コンピュータと周辺機器を接続してみて、周辺機器が • 正しく動作した場合は、EIZOコンタクトセンターまたはEIZOサポートにご相談ください。 • ご使用のコンピュータおよびOSがUSBに対応しているかご確認ください（各機器のUSB対応については各メーカーにお問い合わせください）。 • Windowsをご使用の場合、コンピュータに搭載されているBIOSのUSBに関する設定をご確認ください（詳細はコンピュータの取扱説明書を参照してください）。

第 8 章　ご参考に

8-1. オプションアーム取付方法

この製品はスタンド部分を取り外すことによって、オプションアーム（またはオプションスタンド）に取り付けることが可能になります。対応しているオプションアーム（またはオプションスタンド）については、当社のWebサイトを参照してください。http://www.eizo.co.jp

注意点

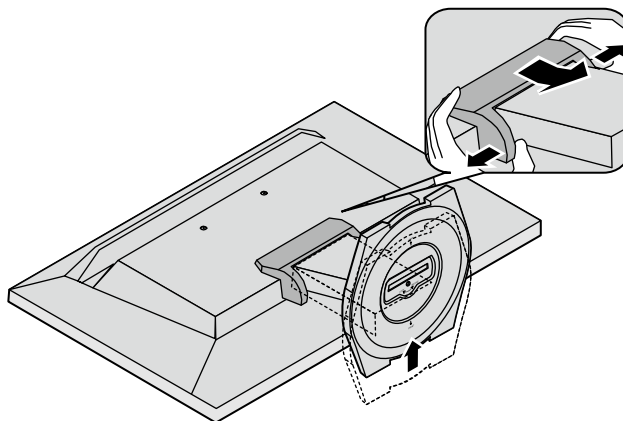
- 取り付けの際は、アームまたはスタンドの取扱説明書の指示に従ってください。
- 他社製のアームまたはスタンドを使用する場合は、次の点をアームまたはスタンドメーカーにご確認の上、VESA規格準拠のものを選択してください。取り付けにはこの製品に付属のM4×12mmねじをご使用ください。
  - 取付部のねじ穴間隔：100mm×100mm
  - プレート部の厚み：2.6mm
  - 許容質量：モニター本体の質量（スタンドなし）とケーブルなどの装着物の総質量に耐えられること
- アームまたはスタンドを使用する場合は、次の範囲（チルト角）で使用してください。
  - 上45°下45°（横表示時、および時計回り90°に縦表示時）
- ケーブル類は、アームまたはスタンドを取り付けた後に接続してください。
- モニターおよびアームまたはスタンドは重量があります。落としたりするとけがや故障の原因になります。

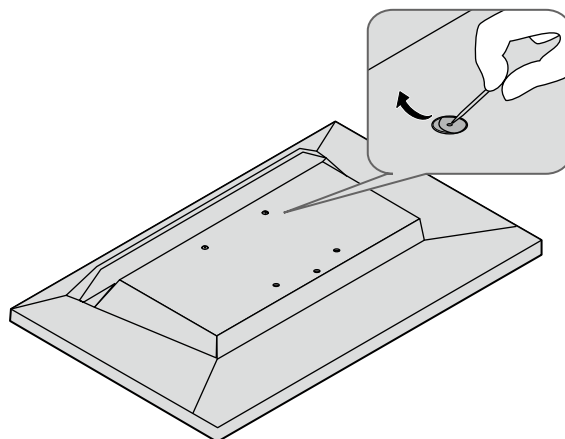
取付方法

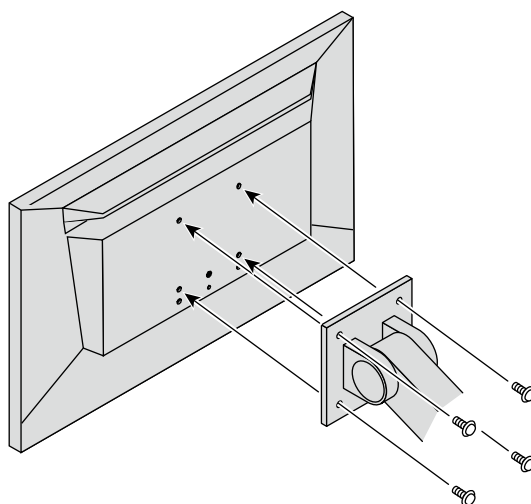
1. パネル面が傷つかないよう、安定した場所に柔らかい布などを敷いた上に、パネル面を下に向けて置きます。

2. スタンドを取り外します。

別途ドライバを準備してください。

1. カバーを取り外します。

2. ドライバを使って、本体部分とスタンドを固定しているねじ3箇所を取り外します。

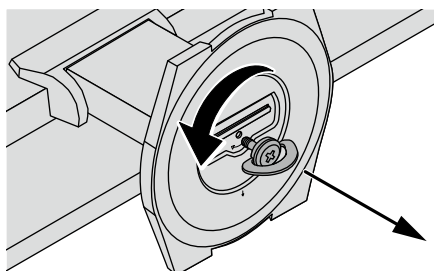
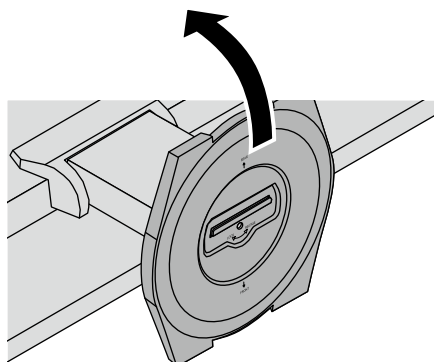
3. ねじ穴のキャップ2箇所をペン先のような先の細いもので取り外します。

4. モニターにアーム（またはスタンド）を取り付けます。

アームまたはスタンドの取扱説明書で指定のねじを使って取り付けます。

8-2. スタンドベースの取外方法/取付方法

取外方法

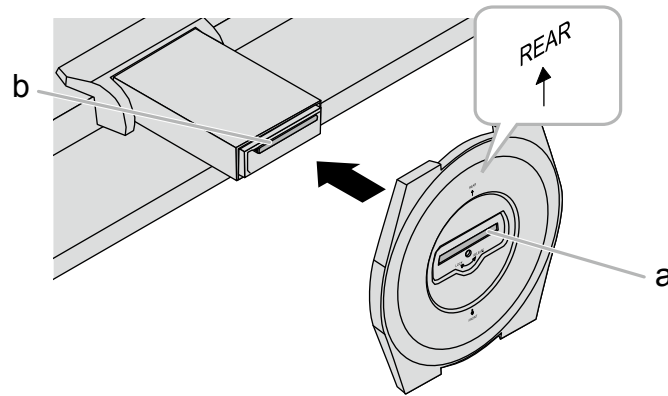
セットアップ時に取り付けたスタンドベースは、次の手順で取り外すことができます。

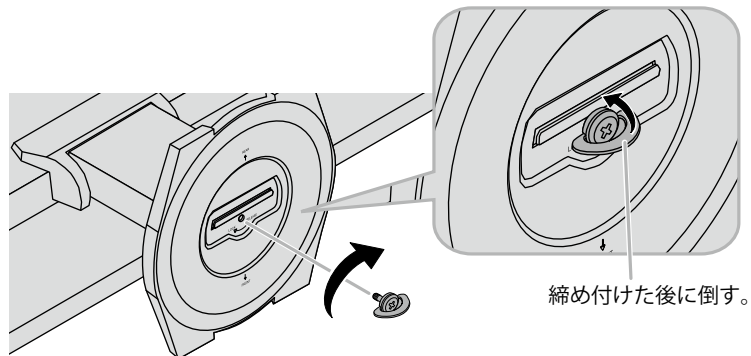
1. パネル面が傷つかないよう、安定した場所に柔らかい布などを敷いた上に、パネル面を下に向けて置きます。

2. スタンドベースを固定しているねじを「RELEASE」の方向に回して外します。

3. スタンドベースを上に持ち上げるようにして外します。

取付方法

いったん取り外したスタンドベースは、次の手順で再度モニター本体に取り付けることができます。

1. **パネル面が傷つかないよう、安定した場所に柔らかい布などを敷いた上に、パネル面を下に向けて置きます。**

2. **スタンドベースを図のように「REAR」の文字を上にして持ち、スタンドベースの穴（a）にモニター本体底面のツメ（b）をはめ込みます。**

3. **付属のねじを「LOCK」の方向に回して、スタンドベースを固定します。**

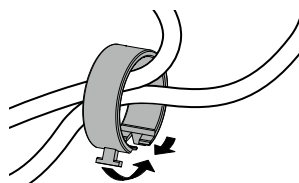
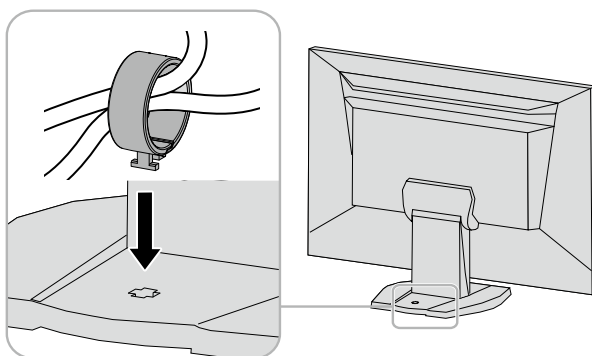
ねじは最後までしっかりと締め付けてください。

4. **モニターを安定した場所に置きます。**

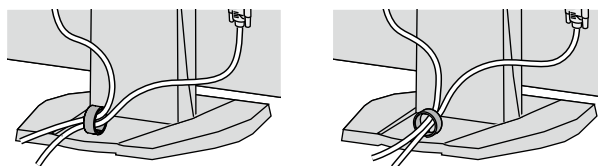
8-3. ケーブルホルダーの取付方法/取外方法

この製品にはケーブルホルダーが付属しています。モニターに接続したケーブル類を配線する際に利用してください。

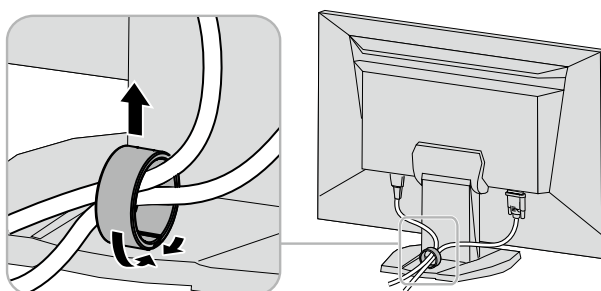
取付方法

1. ケーブルホルダーにケーブルを通します。

2. ケーブルホルダーの下部を締めます。

3. その状態のまま、スタンドベースに差し込みます。

参考

- ケーブルホルダーは縦、横のどちらの方向にも差し込むことができます。ケーブルの配線状況に応じて、ケーブルホルダーの向きを変えてください。

取外方法

1. ケーブルホルダーの下部を締めます。

2. その状態のまま、スタンドベースからケーブルホルダーをまっすぐ上に抜き取ります。

8-4. USB（Universal Serial Bus）の活用について

この製品はUSBハブを搭載しています。USB対応のコンピュータに接続することにより、この製品がUSBハブとして機能し、USBに対応している周辺機器と接続できます。

参考

- この製品はUSB 3.0に対応しています。USB 3.0に対応した周辺機器を接続すると、高速のデータ通信が可能になります（コンピュータおよび周辺機器との接続に使用するUSBケーブルが、USB 3.0に対応している場合のみ）。

● 必要なシステム環境

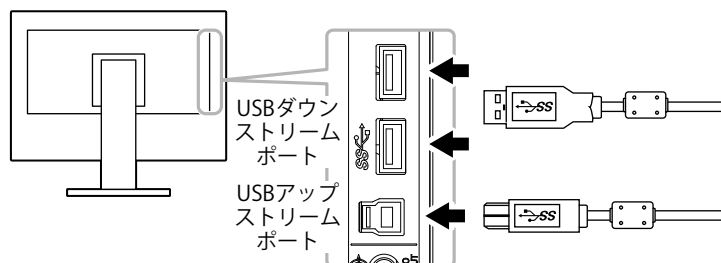
- USBポートを搭載したコンピュータ
- Windows 8.1 / Windows 8 / Windows 7 / Windows VistaまたはMac OS X 10.2以降およびMac OS 9.2.2
- EIZO USBケーブル（UU200SS (USB 3.0)）

注意点

- 使用するコンピュータ、OSおよび周辺機器によっては動作しない場合があります。各機器のUSB対応については各メーカーにお問い合わせください。
- モニターが省電力モードの場合、USBダウンストリームポートに接続している機器は動作します。そのためモニターの消費電力は、省電力モードであっても接続される機器によって変化します。
- 主電源スイッチオフ時、USBダウンストリームポートに接続されている機器は動作しません。

● 接続方法（USB機能のセットアップ方法）

1. はじめにコンピュータとモニターを信号ケーブルで接続し、コンピュータを起動しておきます。
2. USB対応のコンピュータのUSBダウンストリームポートとモニターのUSBアップストリームポートをUSBケーブルで接続します。

   USBケーブルの接続により自動的にUSBのハブ機能がセットアップされます。
3. USB対応の周辺機器をモニターのUSBダウンストリームポートに接続します。

8-5. モニター情報を表示する

製品名、製造番号、使用時間、解像度、入力信号を表示します。

設定方法

1. 設定メニューの「インフォメーション」を選択し、ENTER を押します。

   「インフォメーション」が表示されます。

注意点

- 工場での検査のため、最初にモニターの電源を入れたときに使用時間が「0」ではない場合があります。

8-6. 仕様

液晶パネル	種類	IPS（アンチグレア）
	バックライト	LED
	サイズ	60cm（23.8）型（可視域対角60.4cm）
	解像度	1920ドット×1080ライン
	表示面積（横×縦）	527.04mm×296.46mm
	画素ピッチ	0.2745mm
	表示色	8bitカラー： 1,677万色
	視野角 （水平/垂直、標準値）	178˚、178˚
	最大輝度	250cd/m^2
	応答速度（標準値）	16ms（黒→白→黒） 4.9ms（中間階調域）※1（オーバードライブ設定：強）
	コントラスト比	1000：1（コントラスト拡張設定「強」時 5000：1）
映像信号	入力端子	DVI-Dコネクタ（HDCP）×1、HDMI TypeA※2×2
	デジタル走査周波数 （水平/垂直）	DVI： 31kHz～68kHz / 59Hz～61Hz（VGA TEXT時：69Hz～71Hz） HDMI： 15kHz～68kHz / 49Hz～61Hz フレーム同期モード対応：49Hz～61Hz
	ビデオ入力フォーマット	VGA / 480i / 480p / 1080i / 720p / 1080p：60Hz 576i / 576p / 1080i / 720p / 1080p：50Hz
	ドットクロック（最大）	148.5MHz
音声	音声入力フォーマット（HDMI）	2chリニアPCM（32kHz / 44.1kHz / 48kHz）
	スピーカー	0.5W＋0.5W（8Ω）
	ヘッドホン	2mW+2mW（32Ω）
	入力端子	ライン： ステレオミニジャック×1 HDMI TypeA※2×2（映像信号と共用）
	出力端子	ヘッドホン： ステレオミニジャック×1 ライン： ステレオミニジャック×1
USB	ポート	アップストリーム×1、ダウンストリーム×2
	規格	USB Specification Rev.3.0
	通信速度	5Gbps（スーパースピード）、480Mbps（ハイスピード）、12Mbps（フルスピード）、1.5Mbps（ロースピード）
	供給電源	ダウンストリーム： 最大900mA/1ポート
電源	電源入力	AC100V±10%、50/60Hz、0.80A
	最大消費電力	46W以下
	省電力時消費電力	0.5W以下 （HDMI 1系統入力時、USB機器非接続時、「USBパワーセーブ」：「有効」設定時）
	待機時消費電力	0.5W以下 （USB機器非接続時）
機構	外観寸法	539.4mm×390～458.3mm×200mm（幅×高さ×奥行）
	外観寸法（モニター部）	539.4mm×344mm×52.5mm（幅×高さ×奥行）
	質量	約5.2kg
	質量（モニター部）	約4.0kg
	昇降	60mm
	チルト	上25˚、下0˚
	スウィーベル	344˚

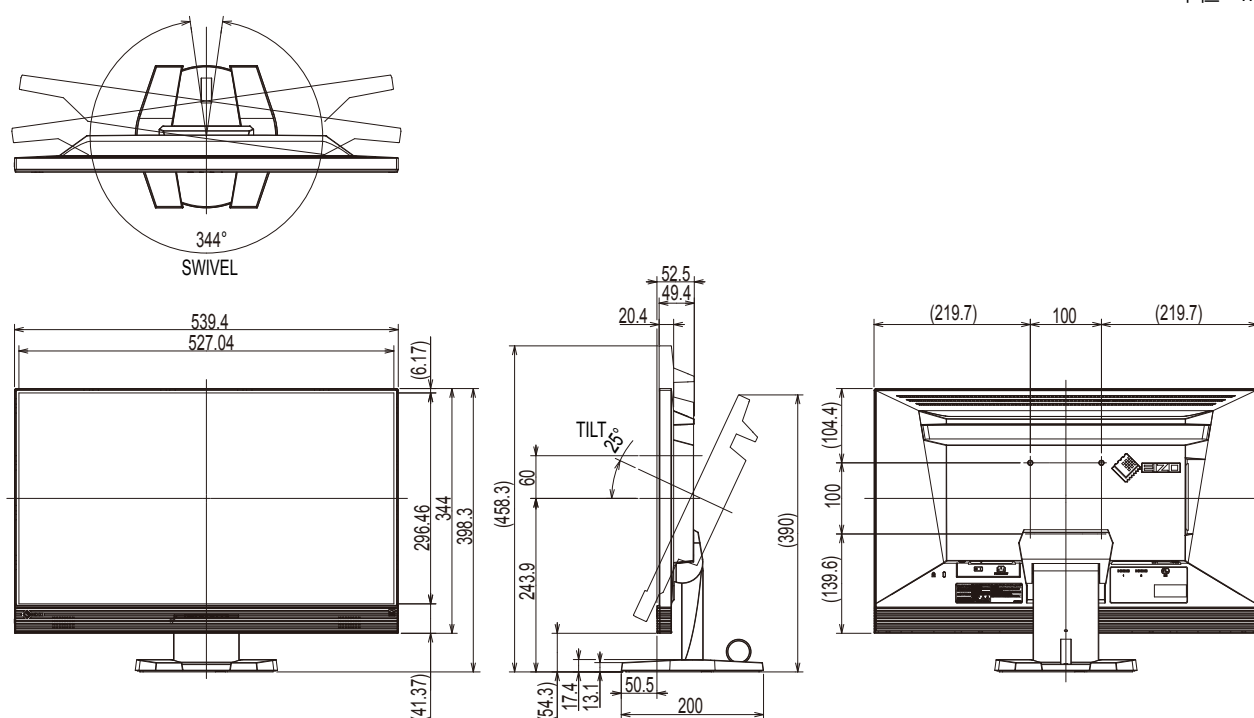
動作環境条件	温度	5˚C～35˚C
	湿度	20%～80%（R.H.,結露なきこと）
	気圧	540hPa～1060hPa
輸送/保存環境条件	温度	-20˚C～60˚C
	湿度	10%～90%（R.H.,結露なきこと）
	気圧	200hPa～1060hPa

※1 中間階調域の応答速度の平均値です。
※2 HDMI CEC機能（相互制御機能）には対応していません。

主な初期設定値

カラーモード	User1
オフタイマー	無効
画面サイズ	DVI-D入力時：フルスクリーン HDMI（PC信号/HD信号）入力時：フルスクリーン HDMI（SD信号）入力時：自動
Auto EcoView（オートエコビュー）	標準
EcoView Optimizer（エコビューオプティマイザー）	オフ
スムージング	3
音声レベル	0
サウンド設定 - パワーセーブ	サウンド オフ
PowerManager - パワーセーブ	有効
操作ロック	オフ
起動ロゴ	オン
電源ランプ	有効
言語選択	日本語
USBパワーセーブ	有効

外観寸法

単位：mm

オプション品

クリーニングキット	EIZO「ScreenCleaner」

オプション品に関する最新情報は、当社のWebサイトを参照してください。
http://www.eizo.co.jp

第 9 章　用語集

DVI（Digital Visual Interface）

デジタルインターフェース規格の一つです。コンピュータ内部のデジタルデータを損失なくダイレクトに伝送できます。
伝送方式にTMDS、コネクタにDVIコネクタを採用しています。デジタル信号入力のみ対応のDVI-Dコネクタと、デジタル/アナログ信号入力可能なDVI-Iコネクタがあります。

DVI DMPM（DVI Digital Monitor Power Management）

デジタルインターフェースの省電力機能のことです。モニターのパワー状態についてはモニターオン（オペレーションモード）とアクティブオフ（省電力モード）が必須となっています。

FPS（First Person Shooter）

主人公の一人称視点でゲーム中の世界を移動し、敵と戦うシューティングゲームのことです。

HDCP（High-bandwidth Digital Content Protection）

映像や音楽などのデジタルコンテンツの保護を目的に開発された、信号の暗号化方式。
DVIコネクタやHDMIコネクタなどを経由して送信されるデジタルコンテンツを出力側で暗号化し入力側で復号化することによりコンテンツを安全に伝送できます。
出力側と入力側の双方の機器がHDCP対応していないと、コンテンツを再生できない仕組みになっています。

HDMI（High-Definition Multimedia Interface）

HDMIとは、コンピュータとモニターを接続するときのインターフェース規格の1つである「DVI」をベースにして、家電やAV機器向けに発展させたデジタルインターフェース規格です。映像や音声、制御信号を圧縮することなく、1本のケーブルで伝送することができます。

RTS（Real-time Strategy）

リアルタイムに進行する状況に対応して瞬時に判断して戦略を立てて競技するゲームのことです。

sRGB（Standard RGB）

周辺機器間（モニター、プリンタ、デジタルカメラ、スキャナなど）の「色再現性、色空間」を統一する目的で成立した国際基準のことです。インターネット用の簡易的な色合わせの手段として、インターネットの送り手と受け手の色を近い色で表現できます。

TMDS（Transition Minimized Differential Signaling）

デジタルインターフェースにおける、信号伝送方式の一つです。

色温度

白色の色合いを数値的に表したものを色温度といい、K：Kelvin（ケルビン）で表します。炎の温度と同様に、画面は温度が低いと赤っぽく表示され、高いと青っぽく表示されます。
5000K：やや赤みがかった白色
6500K：昼光色と呼ばれる白色
9300K：やや青みがかった白色

オーバードライブ

液晶画素の動作時にかける電位差を大きくすることによって、応答速度を向上させる技術で、一般的に液晶テレビなどに用いられています。動画内に頻繁に現れる中間階調域の応答速度を向上させることにより、残像の少ない、くっきりとした立体感豊かな表示を提供します。

解像度

液晶パネルは決められた大きさの画素を敷き詰めて、その画素を光らせて画像を表示させています。この機種の場合は横1920個、縦1080個の画素がそれぞれ敷き詰められています。このため、1920×1080の解像度であれば、画像は画面全体（1対1）に表示されます。

カラースペース

色を規定し、表現するための方法。輝度（Y）と青の色差（U）、赤の色差（V）により表現するYUV、赤（R）、緑（G）、青（B）の3色の階調により表現するRGBなどがあります。

ガンマ

一般に、モニターは入力信号のレベルに対して非直線的に輝度が変化していきます。これをガンマ特性と呼んでいます。画面はガンマ値が低いとコントラストが弱く、ガンマ値が高いとコントラストが強くなります。

ゲイン

赤、緑、青それぞれの色の値を調整するものです。液晶モニターではパネルのカラーフィルタに光を通して色を表示しています。赤、緑、青は光の3原色であり、画面上に表示されるすべての色は3色の組み合わせによって構成されます。3色のフィルタに通す光の強さ（量）をそれぞれ調整することによって、色調を変化させることができます。

付録

商標

HDMI、HDMI High-Definition Multimedia InterfaceおよびHDMIロゴは、HDMI Licensing, LLCの米国およびその他の国における登録商標または商標です。
VESAはVideo Electronics Standards Associationの登録商標です。
Acrobat、Adobe、Adobe AIR、PhotoshopはAdobe Systems Incorporated（アドビ　システムズ社）の米国およびその他の国における登録商標です。
AMD Athlon、AMD OpteronはAdvanced Micro Devices, Inc.の商標です。
Apple、ColorSync、eMac、iBook、iMac、iPad、Mac、MacBook、Macintosh、Mac OS、PowerBook、QuickTimeはApple Inc.の登録商標です。
ColorMunki、Eye-One、X-RiteはX-Rite Incorporatedの米国および/またはその他の国における登録商標または商標です。
ColorVision、ColorVision Spyder2はDataColor Holding AGの米国における登録商標です。
Spyder3、Spyder4はDataColor Holding AGの商標です。
ENERGY STARは米国環境保護庁の米国およびその他の国における登録商標です。
GRACoL、IDEAllianceはInternational Digital Enterprise Allianceの登録商標です。
Japan Color、ジャパンカラーは一般社団法人日本印刷産業機械工業会および一般社団法人日本印刷学会の日本登録商標です。
JMPAカラーは社団法人日本雑誌協会の日本登録商標です。
NECは日本電気株式会社の登録商標です。
PC-9801、PC-9821は日本電気株式会社の商標です。
NextWindowはNextWindow Ltd.の商標です。
Intel、Intel Core、Pentium、Thunderboltは米国およびその他の国におけるIntel Corporationの商標です。
PowerPCはInternational Business Machines Corporationの登録商標です。
PlayStation、PS3、PSP、プレイステーションは株式会社ソニー・コンピュータエンタテインメントの登録商標です。
RealPlayerはRealNetworks, Inc.の登録商標です。
TouchWareは3M Touch Systems, Inc.の商標です。
Windows、Windows Media、Windows Vista、SQL Server、Xbox 360、Internet Explorerは米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。
YouTubeはGoogle Inc.の登録商標です。
FirefoxはMozilla Foundationの登録商標です。
Kensington、MicroSaverはACCO Brands Corporationの登録商標です。
SuperSpeed USB Trident LogoはUSB Implementers Forum, Inc.の登録商標です。
EIZO、EIZOロゴ、ColorEdge、DuraVision、FlexScan、FORIS、RadiCS、RadiForce、RadiNET、Raptor、ScreenManagerはEIZO株式会社の日本およびその他の国における登録商標です。
ColorNavigator、EcoView NET、EIZO EasyPIX、EIZO Monitor Configurator、EIZO ScreenSlicer、G-Ignition、i・Sound、Re/Vue、Screen Administrator、UniColor ProはEIZO株式会社の商標です。
C@T-one、FlexViewはEIZO株式会社の日本登録商標です。
その他の各会社名、各製品名は各社の商標または登録商標です。

ライセンス/著作権

この製品上で表示される文字には、株式会社リコーが制作したビットマップフォント丸ゴシックボールドを使用しています。

ENERGY STAR

当社は国際エネルギースタープログラムの参加事業者として、この製品が国際エネルギースタープログラムの基準に適合していると判断します。

VCCI

この装置は、クラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。
また、製品の付属品（ケーブルを含む）や当社が指定するオプション品を使用しない場合、VCCIの技術基準に適合できない恐れがあります。

VCCI-B

その他規格

この装置は、社団法人 電子情報技術産業協会の定めたパーソナルコンピュータの瞬時電圧低下対策規格を満足しております。しかし、規格の基準を上回る瞬時電圧低下に対しては、不都合が生じることがあります。
この装置は、高調波電流を抑制する日本工業規格JIS C 61000-3-2に適合しております。

中国RoHS

关于电子信息产品污染控制标识

本标识根据「电子信息产品污染控制管理办法」，适用于在中华人民共和国销售的电子信息产品。标识中央的数字为环保使用期限的年数。只要您遵守该产品相关的安全及使用注意事项，在自制造日起算的年限内，不会产生对环境污染或人体及财产的影响。上述标识粘贴在机器背面。

• 有毒有害物质或元素的名称及含量

部件名称	有毒有害物质或元素					
	铅（Pb）	汞（Hg）	镉（Cd）	六价铬（Cr（VI））	多溴联苯（PBB）	多溴二苯醚（PBDE）
印刷电路板	×	○	○	○	○	○
机箱	○	○	○	○	○	○
液晶显示器	×	○	○	○	○	○
其他	×	○	○	○	○	○

○：表示该有毒有害物质在该部件所有均质材料中的含量均在 SJ/T 11363-2006 规定的限量要求以下。
×：表示该有毒有害物质至少在该部件的某一均质材料中的含量超出 SJ/T 11363-2006 规定的限量要求。
（企业可在此处，根据实际情况对上表中打“×”的技术原因进行进一步说明）

アフターサービス

この製品のサポートに関してご不明な場合は、EIZOサポートネットワーク株式会社（EIZOサポート）にお問い合わせください。EIZOサポート一覧は別紙の「お客様ご相談窓口のご案内」に記載してあります。

保証書について

- この製品の保証書はセットアップガイド（裏面）にあります。必要事項をご記入の上、購入日が分かる書類（レシートなど）とともに保管してください。
- 当社では、この製品の補修用性能部品（製品の機能を維持するために必要な部品）を、製品の製造終了後、最低7年間保有しています。補修用性能部品の最低保有期間が経過した後も、故障箇所によっては修理可能な場合がありますので、EIZOサポートにご相談ください。

修理を依頼されるとき

- 保証期間中の場合
  保証書の規定に従い、EIZOサポートにて修理または交換をさせていただきます。お買い上げの販売店、またはEIZOサポートにご連絡ください。
- 保証期間を過ぎている場合
  お買い上げの販売店、またはEIZOサポートにご相談ください。修理範囲（サービス内容）、修理費用の目安、修理期間、修理手続きなどを説明いたします。

修理を依頼される場合にお知らせいただきたい内容

- お名前、ご連絡先の住所、電話番号/FAX番号
- お買い上げ年月日、販売店名
- 製品名、製造番号
  （製造番号は、本体の背面部のラベル上に表示されている8桁の番号です。
  例）S/N 12345678）
- 使用環境（コンピュータ/グラフィックスボード/OS、システムのバージョン/表示解像度など）
- 故障または異常の内容（できるだけ詳細に）

修理について

- 修理の際に当社の品質基準に達した再生部品を使用することがありますのであらかじめご了承ください。

製品回収、リサイクルシステムについて

- パソコン及びパソコン用モニターは「資源有効利用促進法」の指定再資源化製品に指定されており、メーカーは自主回収及び再資源化に取り組むことが求められています。当社は、使用済みモニターの回収、リサイクル体制を構築しており、お客様がこの製品をご使用後に廃棄する際は次の要領でお引き取りしています。
- なお、詳細な情報については、当社のWebサイトもあわせて参照してください。
（http://www.eizo.co.jp）

● 法人のお客様

この製品は、法人のお客様が使用後産業廃棄物として廃棄される場合、有償で一般社団法人「パソコン3R推進協会」がお引き取りいたします。当社のWebサイトよりお申し込みください。
（http://www.eizo.co.jp）

● 個人のお客様

PCリサイクルマークの無償提供について

この製品は、PCリサイクル対象製品です。当社では、この製品をご購入いただいた個人のお客様にPCリサイクルマークを無償でご提供しております。ご購入後すぐに、当社のWebサイトよりお申し込みください。
（http://www.eizo.co.jp）
マークは本体背面部のラベルの近くに貼り付けてください。

一般社団法人　パソコン3R推進協会内　パソコンリサイクル受付センター **EIZO Webサイト：**http://www.eizo.co.jp/support/recycle/personal/index.html ※「PCリサイクルマーク申込」からお入りください。 （回収担当窓口は、一般社団法人　パソコン3R推進協会内　パソコンリサイクル受付センターにて対応いたします。）

申し込みには、本体の背面部のラベル上に記載されている製品名と製造番号が必要となります。

PCリサイクルマークについて

個人のお客様が、このマークが付いた当社製品の回収を一般社団法人　パソコン3R推進協会内　パソコンリサイクル受付センターにご依頼いただいた場合は、お客様に料金を負担いただくことなく回収、再資源化いたします。

お問い合わせ

本件に関するお問い合わせは、一般社団法人　パソコン3R推進協会内　パソコンリサイクル受付センターまでお願いいたします。

一般社団法人　パソコン3R推進協会内　パソコンリサイクル受付センター

電話：045-226-4552
月曜日～金曜日（祝日および同センター指定の休日を除く）10：00～17：00